

[ワーク] 子どもにとってどんな環境？

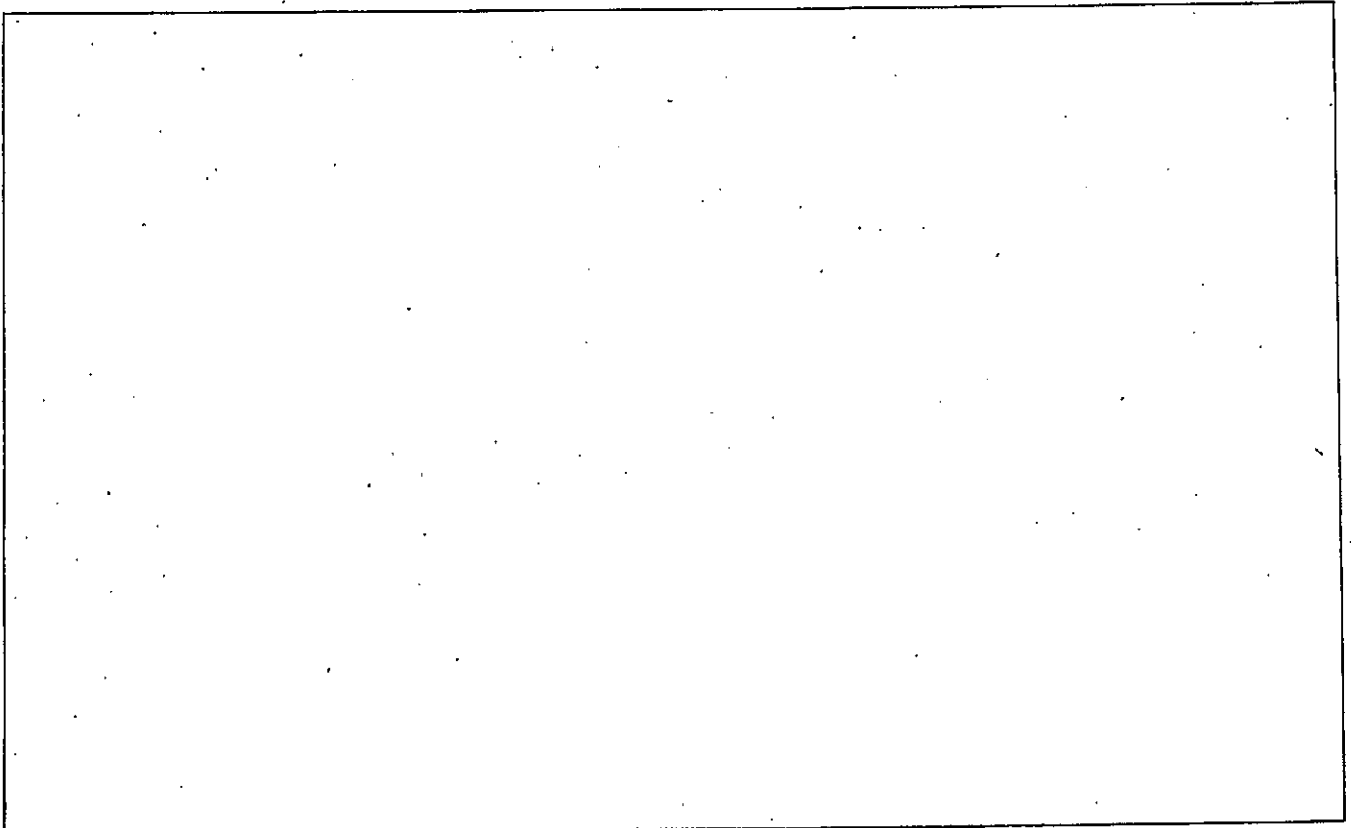
個人で考える	3分
話し合い	12分

今の保育環境について

- ①保育者がハラハラしていること、制限や禁止していることはありますか。
- ②なぜ、そのように思ってしまうのか、考えてみましょう。
- ③それぞれ考えたことを、話し合ってみましょう。

※一人ひとりの考えを尊重しましょう。

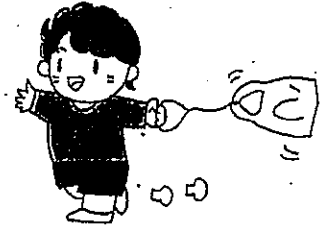
© 2016 Holku-design inst



[ワーク] 安全に遊ぶためにみんなで考えよう

例えば…

ビニール凧を持って走る (2歳)



①予測される危険 (リスク)

- ・ ビニールや紐が友達に絡まる。
- ・ 走っている友達とぶつかる。
- ・ 横を向いて走り、躓く、転ぶ。
- ・ 作ったものが壊れて、トラブルになる。

②その経験から育つこと (リターン)

- ・ ビニールの音や動きから、風を感じる。
- ・ ビニールの性質を知る。
- ・ ビニールに風を入れながら走る調整機能が育つ。
- ・ 走り回ることによって、開放的な気持ちになる。

© 2016 Hoiku-design inst

[ワーク] 安全に遊ぶためにみんなで考えよう

椅子をままごとの家の囲いにする (2歳)

記入 5分
話し合い 7分



①予測される危険 (リスク)

②その経験から育つこと (リターン)

© 2016 Hoiku-design inst

[ワーク]

乳児の遊びと環境について語り合おう

準備

- 4～5人のグループを作る
- 2cm幅の付箋、1人5枚程度
- A3用紙、各グループ1枚

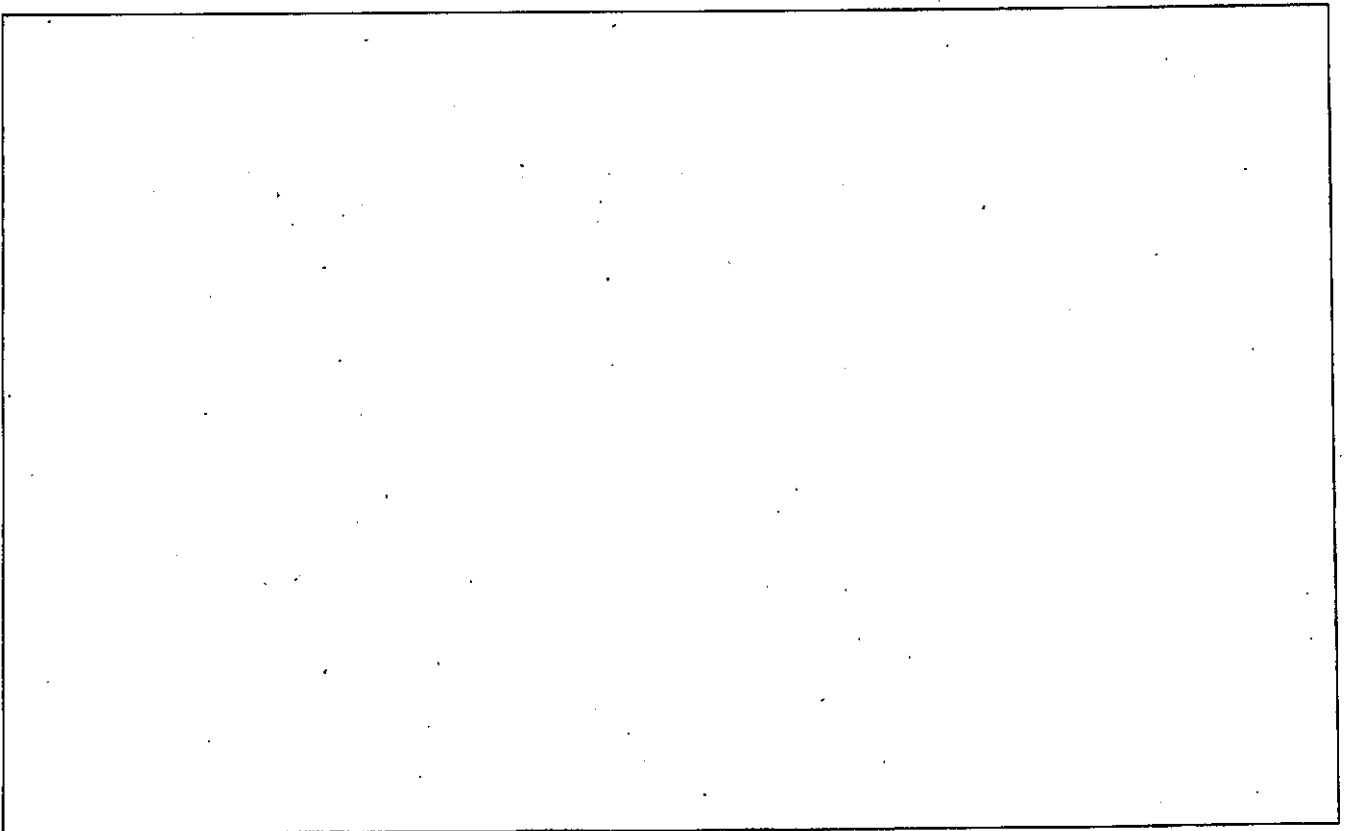
個人で書き出し	3分
話し合い	7分

①乳児の姿を思い出し、安全に配慮しながら豊かな遊びをめざすために、この講座から気づいたこと、考えたことを付箋に書き出しましょう。

②A3用紙に貼り出しながら、考えを伝えあい、語り合しましょう。
似ている内容の付箋はまとめ、分類するとよいでしょう。

※乳児の担当ではない方も、一緒に考えてみましょう。
一人ひとりの考えを尊重しましょう。

© 2016 Holku-design Inst



[ワーク]

幼児の遊びと環境について語り合おう

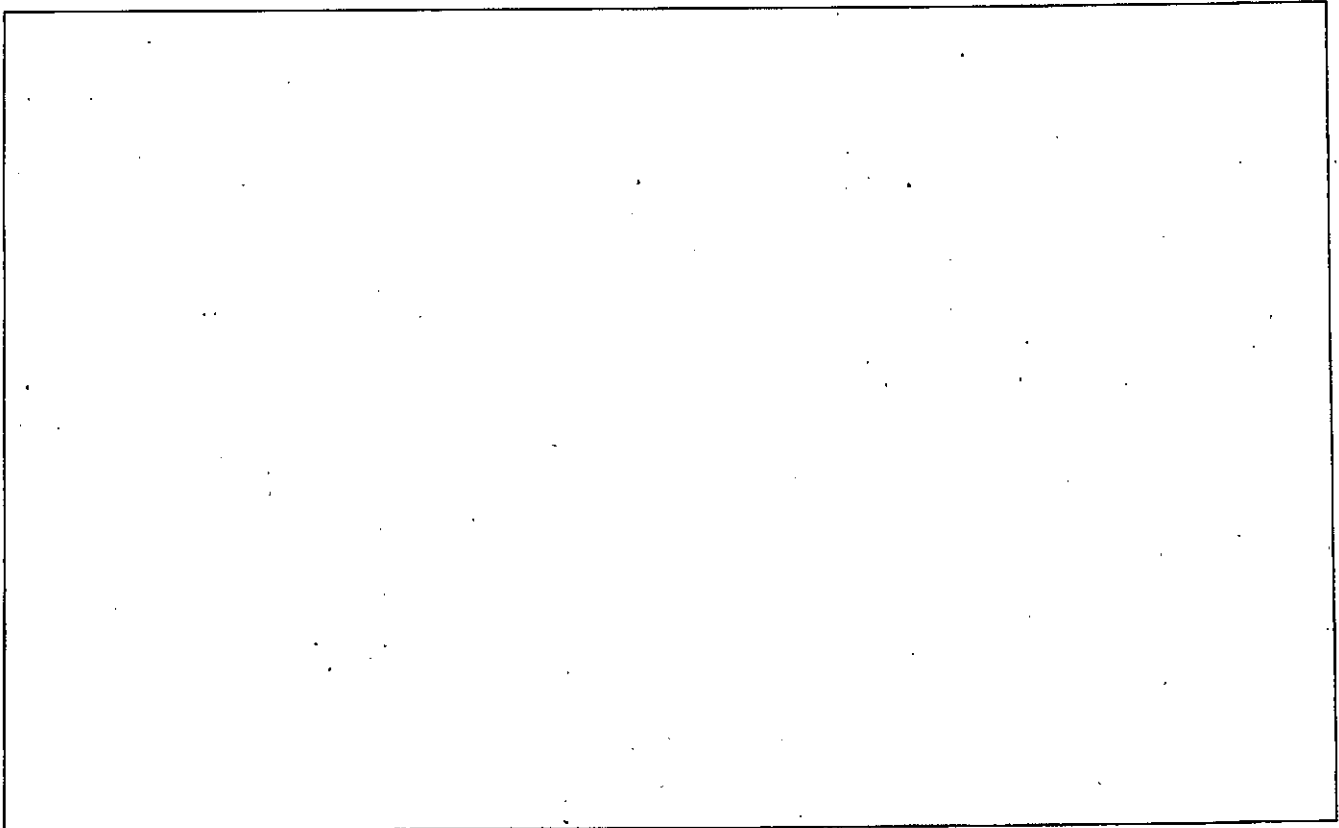
準備

- 4～5人のグループを作る
- 2cm幅の付箋、1人5枚程度
- A3用紙、各グループ1枚

個人で書き出し	3分
話し合い	7分

- ① 幼児の姿を思い出し、安全に配慮しながら豊かな遊びをめざすために、この講座から気づいたこと、考えたことを付箋に書き出しましょう。
 - ② A3用紙に貼り出しながら、考えを伝えあい、語り合しましょう。
似ている内容の付箋はまとめ、分類するとよいでしょう。
- ※幼児の担当ではない方も、一緒に考えてみましょう。
一人ひとりの考えを尊重しましょう。

© 2016 Holku-design Inst.



[ワーク]

子どもの目線で保育室を見てみよう

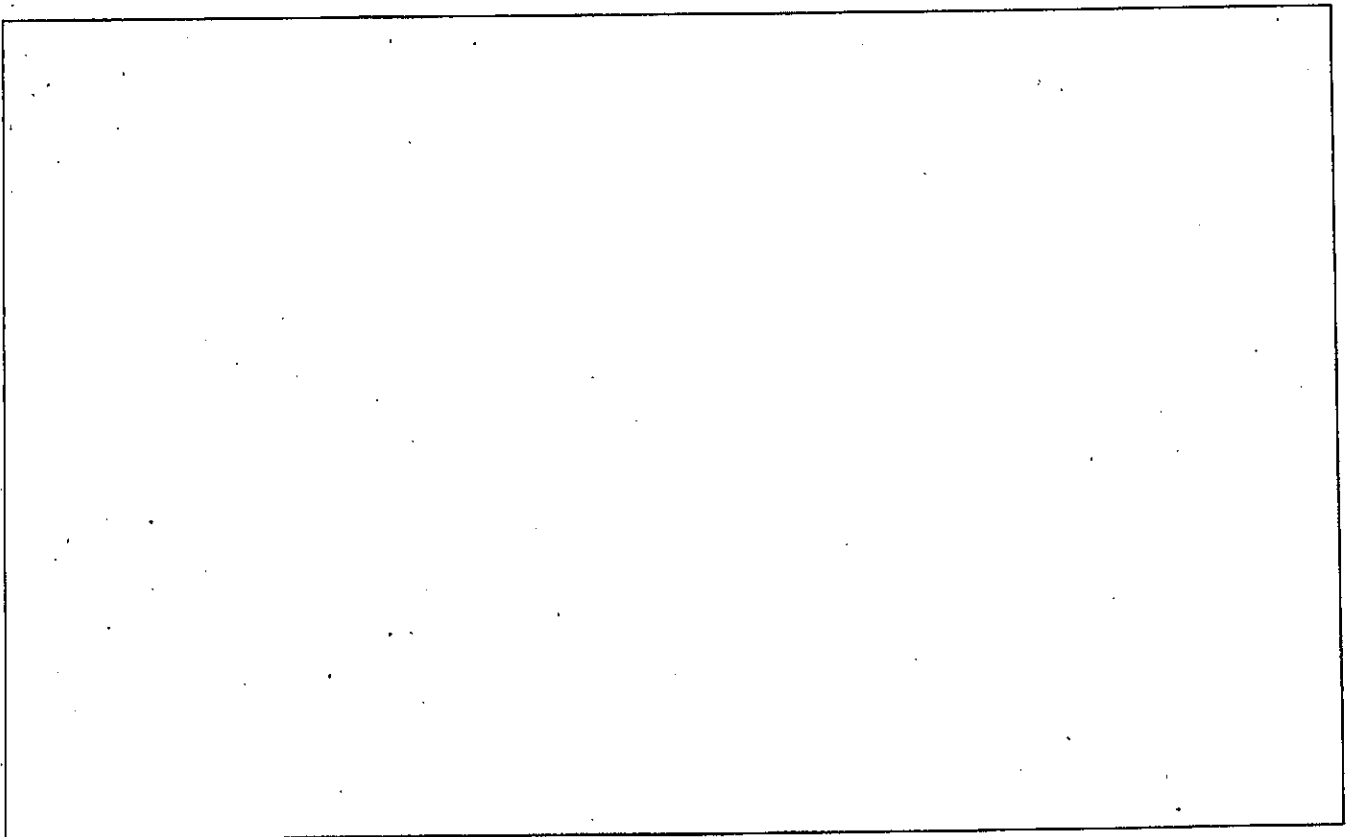
所要時間 5分

準備 クラス単位のグループになる。
2センチ幅の付箋、グループにA3用紙2枚

①クラスの子どもの目線になり、保育室内を歩いてみましょう。
子どもには、どのように見えているのか感じ取ってみましょう。

- ・ 入口から保育室に入るまでの道のりは？
- ・ 保育室内にて、おもちゃの棚や保育者の棚、掲示物は？
- ・ 床、ソファやクッション、椅子など、子どもの体に触れるものは？
- ・ その他

© 2016 Hoiku-design inst



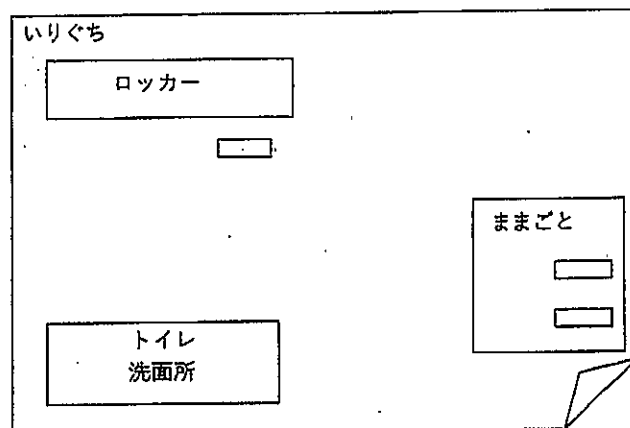
[ワーク]

子どもの目線で保育室を見てみよう

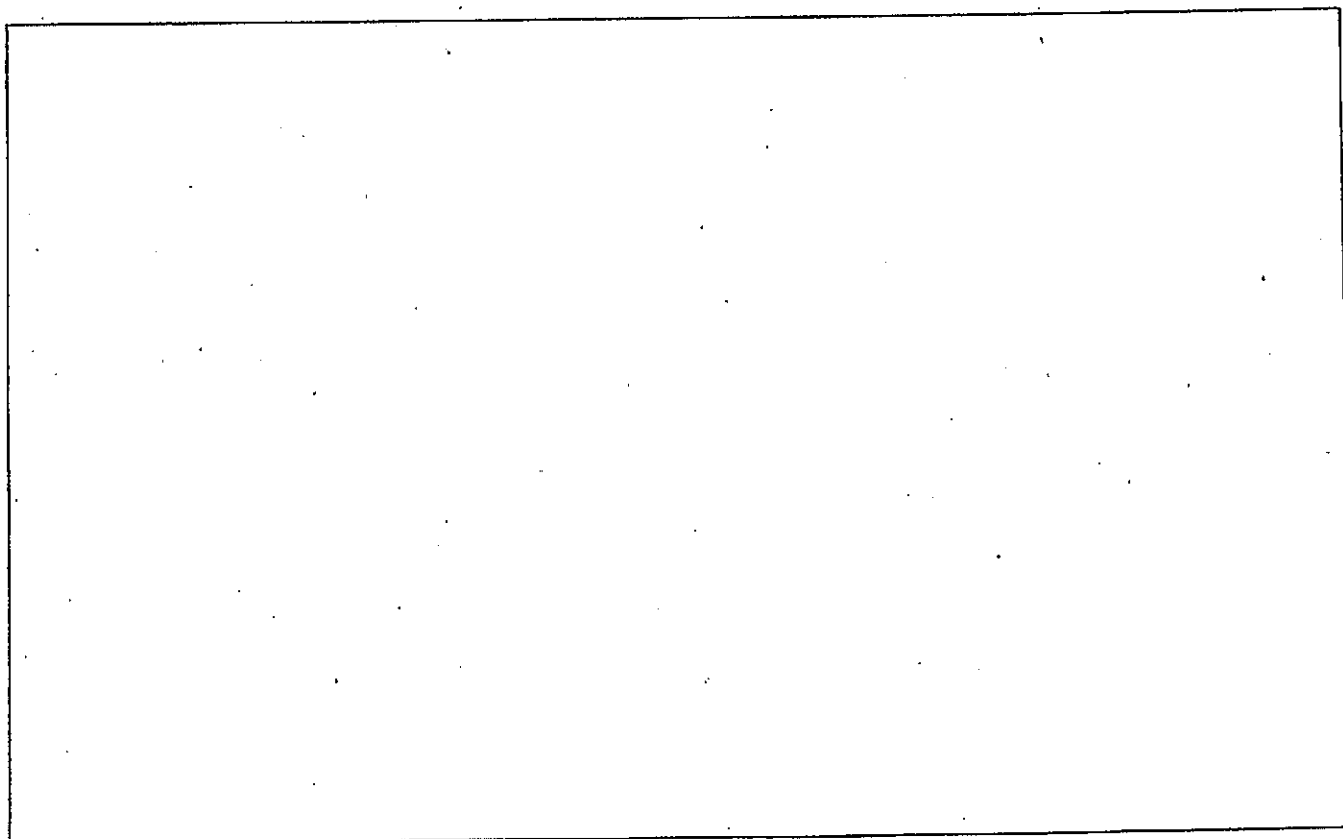
所要時間 10分

- ②A3用紙に、環境図を描きましょう。
各自感想を付箋に書き込んで、環境図に貼り出していきましょう。

※記録のためにここで一度、
この環境図と付箋の様子を
写真に収めておくといいでしょう。



© 2016 Heiku-design inst



[ワーク]

子どもの目線で保育室を見てみよう

所要時間 5分

新たにA3用紙を用意します。縦に半分に折り…

- ③子どもにとって、ワクワクする、楽しい、嬉しい、好きだ、などポジティブな気持ちになる付箋をA3用紙左側に貼りましょう。
- ④保育室が、子どものための環境になっていましたか。危険を感じることはありませんでしたか。ほったらかしになっていることはありませんでしたか。改善したいことは、右側に貼りましょう。

子どもにとって 良いと思うもの	子どものために 改善したいこと
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

© 2016 Holitu-design inst

[ワーク]

子どもの目線で保育室を見てみよう

所要時間 5分

- ⑤右側に貼った改善したいものについては、
すぐに変えたいと思うものを上の方に、
長期にわたって変えていくものは下の方に貼り、
改善の見通しを立てましょう。

子どもにとって 良いと思うもの	子どものために 改善したいこと
<input type="checkbox"/>	今すぐ <input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	あとで <input type="checkbox"/>

© 2016 Holku-design inst

[ワーク] 乳児期から低学年までのつながりを見てみよう！

ワーク時間	10分
-------	-----

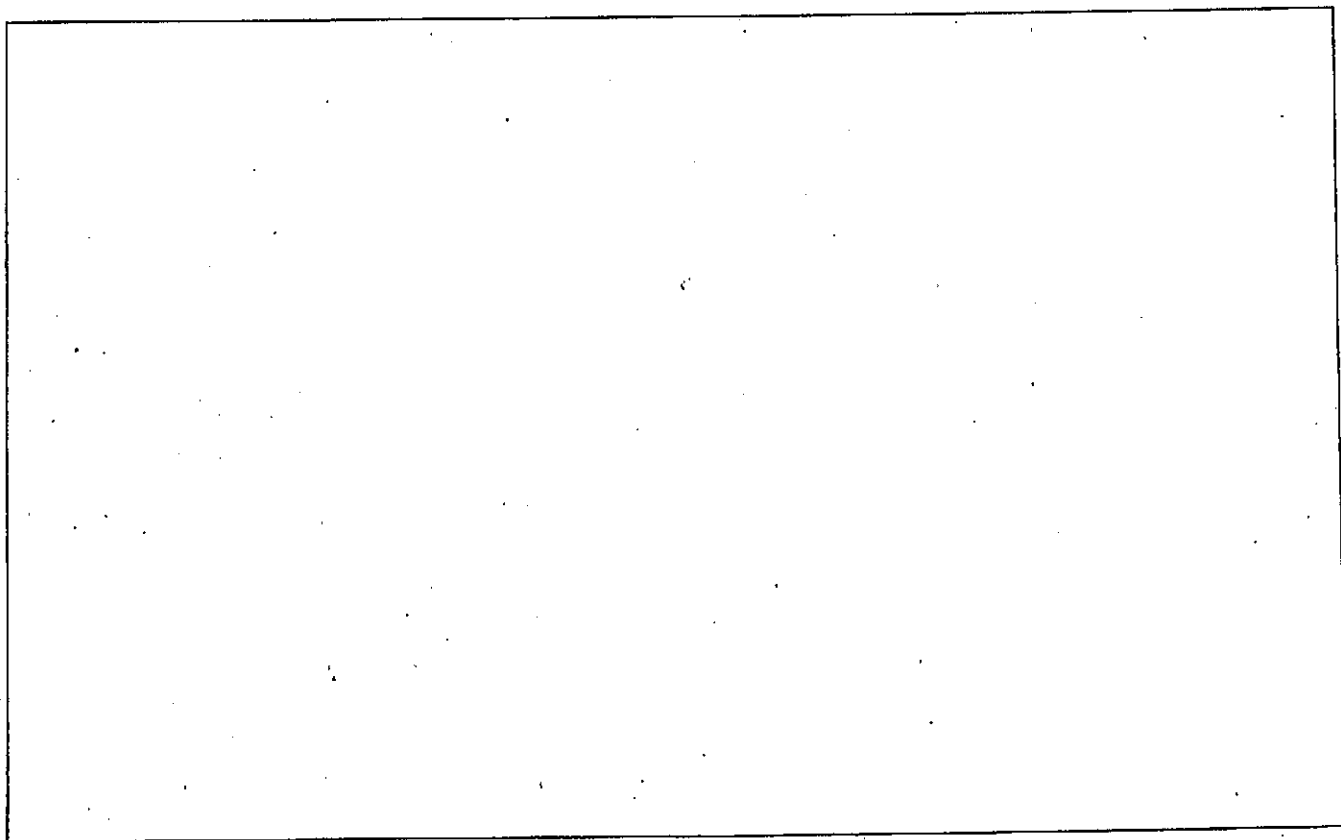
準備

色付きのペン（5色） 前ページのスライド（指針・要領等の表）

進め方

- ① 以下の言葉（類似語を含む）にそれぞれ色をつけてみましょう。
 - i) 十分に、伸び伸びと体を動かす
 - ii) 動き、動作語（歩く、立つ、など）
 - iii) 自ら体を動かそうとする意欲、しようとする
 - iv) 楽しさ、心地よさ
 - v) 遊び、運動遊び
- ② 色付けしたシートをもとに、気づいたことを話し合ってみましょう。

© 2016 Holku-design inst



保育所保育指針 / 幼保連携型認定こども園教育・保育要領		幼稚園教育要領		小学校学習指導要領
乳児期		1歳以上3歳未満	3歳以上	第1学年及び第2学年
健やかに伸び伸びと育つ		健康	健康	体育
ねらい		ねらい	ねらい	目標
(2) 伸び伸びと体を動か し、はう、歩くなどの 運動をしようとする	(2) 自分の体を十分に動 かし、様々な動きをし ようとする	(2) 自分の体を十分に動 かし、進んで運動しよ うとする	(1) 各種の運動遊びの楽しさに触れ、(中略) 基本的な動きを身に付けるようにする (1) 各種の運動遊びの行い方を工夫する(後略) (2) 各種の運動遊びに進んで取り組み、(中略) 意欲的に運動をする態度を養う	
内容		内容	内容	内容
(2) 一人一人の発育に応 じて、はう、立つ、歩 くなど、十分に体を動 かす	(3) 走る、跳ぶ、登る、 押す、引っ張るなど全 身を使う遊びを楽しむ	(2) いろいろな遊びの中 で十分に体を動かす	A 体づくりの運動遊び (1) 次の運動遊びの楽しさに触れ、その行い方を 知るとともに、体を動かす心地よさを味わつ たり、基本的な動きを身に付けたりすること ア 体ほぐしの運動遊びでは、手軽な運動遊び を行い、(後略) イ 多様な動きをつくる運動遊びでは、体のバ ランスをとる動き、体を移動する動き、用具 を操作する動き、力試しの動きをすること (2) 体をほぐしたり多様な動きをつくったりする 遊び方を工夫するとともに、(後略) (3) 運動遊びに進んで取り組み、(後略)	
内容の取扱い		内容の取扱い	内容の取扱い	B 器械・器具を使つての運動遊び C 走・跳の運動遊び / D 水遊び E ゲーム / F 表現リズム遊び
(1) …特に、寝返り、お 座り、はいはい、つか まり立ち、伝い歩きな ど、発育に応じて、遊 びの中で体を動かす機 会を十分に確保し、自 ら体を動かそうとする 意欲が育つようにする こと	(1) …特に、一人一人の 発育に応じて、体を動 かす機会を十分に確保 し、自ら体を動かそう とする意欲が育つよう にすること	(1) …特に、十分に体を 動かす気持ちよさを体 験し、自ら体を動かそ うとする意欲が育つよ うにすること (2) …多様な動きを経 験する中で、体の動き を調整するようにする こと		

© 2016 Hoiku-design inst

幼稚園教育要領等・小学校学習指導要領(平成29年告示)より抜粋

[ワーク] 動きを見つけよう！

ワーク時間 10分

準備

次ページのスライド (動きのチェックリスト)

進め方

- ① 普段、園で行っている身体を使った遊び(場面)を一つイメージしてください。
- ② チェックリストをもとにイメージした遊びでの子どもの動きをチェックしてみましょう。
- ③ 一人の子どもの動きに着目しても、その遊びに関わる複数の子どもに着目しても構いません。
- ④ それぞれイメージした遊びの中で子どもたちはどのような動きを、何種類経験しているか話し合ってみましょう。

© 2016 Hoiku-design Inst

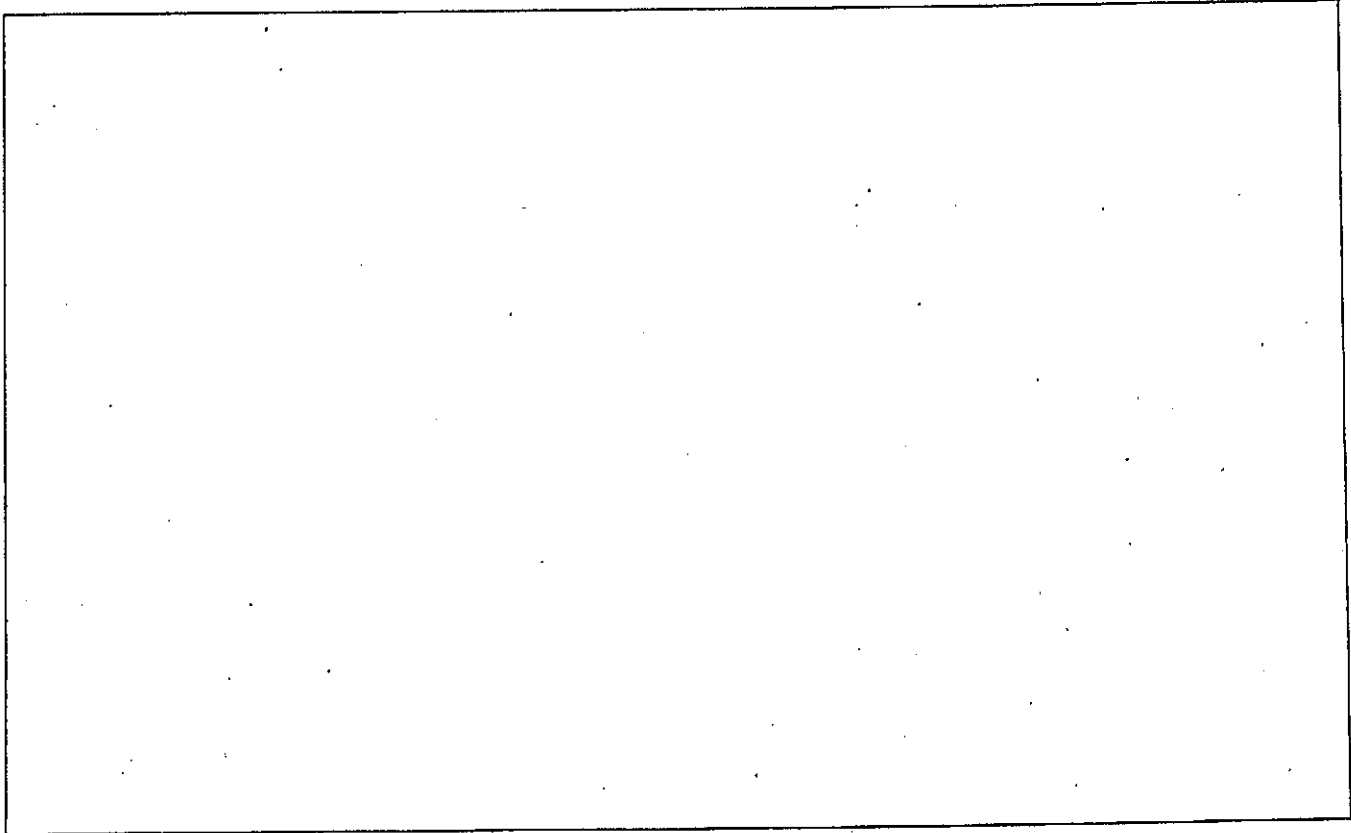
[ワーク] 動きのチェックリスト (45の動き)

- 動き ✓
- 1寝ころぶ・寝る-起き上がる
 - 2はう
 - 3ころがる (揺れる)
 - 4まわる
 - 5乗る・跳び乗る
 - 6こぐ (ブランコなど)
 - 7こぐ (乗り物)
 - 8登る・よじ登る
 - 9おりる
 - 10わたる
 - 11ぶらさがる
 - 12しがみつく
 - 13逆立ちする
 - 14跳ぶ・跳びこす
 - 15またく

- 動き ✓
- 16すべる
 - 17踏む・踏みつける
 - 18スキップする・はねる
 - 19走る
 - 20追いかける-逃げる
 - 21かわす・よける
 - 22くぐる
 - 23入り込む (枠/箱など)
 - 24持つ・持ち上げる-降ろす
 - 25ささえる
 - 26運ぶ・動かす
 - 27押す
 - 28おぶう-おぶさる
 - 29投げる
 - 30うける・捕る

- 動き ✓
- 31うつ・たたく (ボールなど)
 - 32振る (なわや棒など)
 - 33まわす
 - 34積む・のせる
 - 35ころがす
 - 36掘る
 - 37つく (ボールなど)
 - 38ける
 - 39ひく・ひっぱる
 - 40しばる・むすぶ
 - 41止まる
 - 42立つ-すわる・しゃがむ
 - 43つかむ
 - 44すくう-かける
 - 45もぐる

© 2016 Hoiku-design inst



[ワーク1] 動きを引き出す環境を見つけよう！

ワーク時間 7分

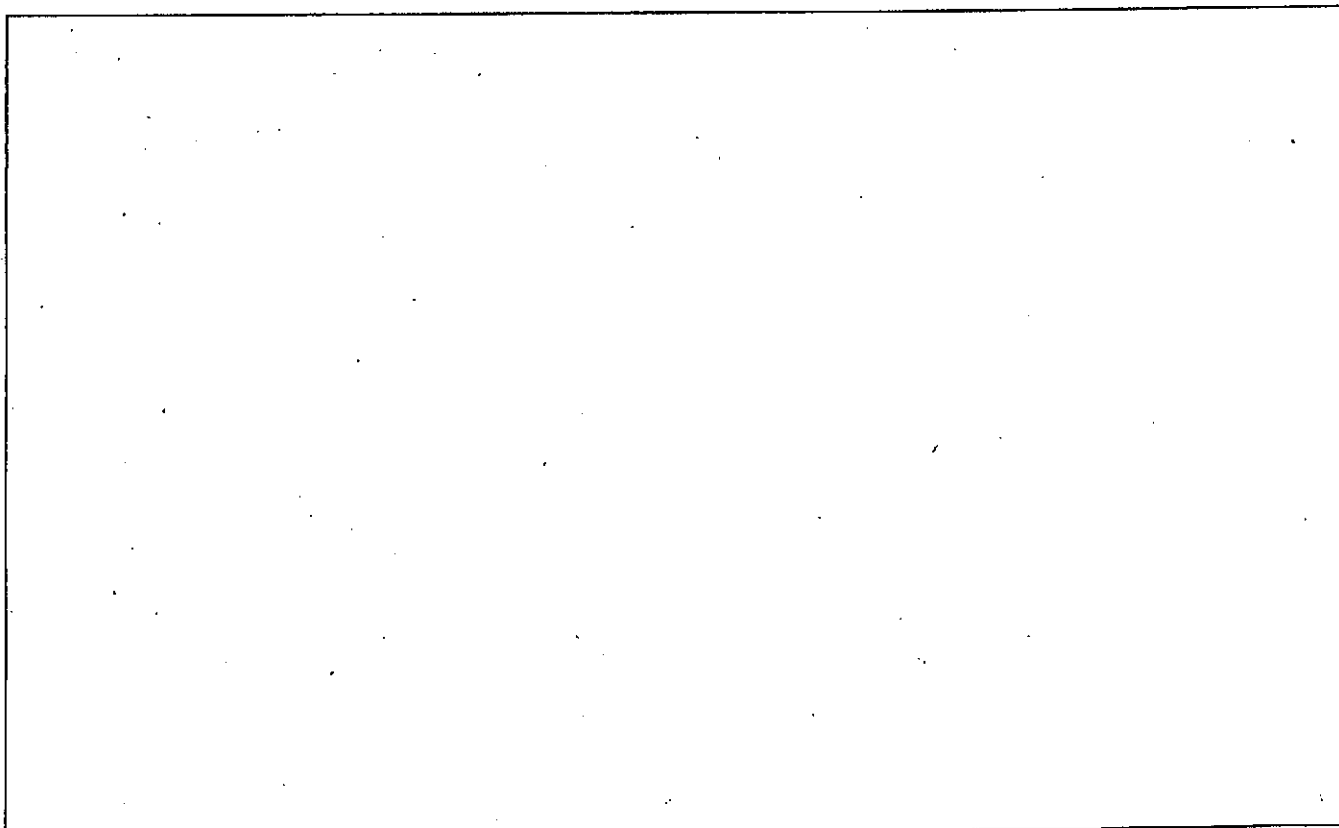
準備

5 cm幅の付箋、1人10枚程度
グループ毎にA4用紙2枚程度

進め方

- ① 動きを一つを選びます（例えば、とぶ、ころがる、引く、など）。
- ② 取り上げた動きが経験できる環境（場の設定）や教材（遊具や用具、素材）を付箋に書き出しましょう。その際、指示してやらせるのではなく、子ども（自分）が「ついやりたくなる場面を想像して考えてみましょう。」
- ③ 各自で考えた環境や教材についてA4用紙に貼り出して話し合ってみましょう。

© 2016 Hoiku-design inst



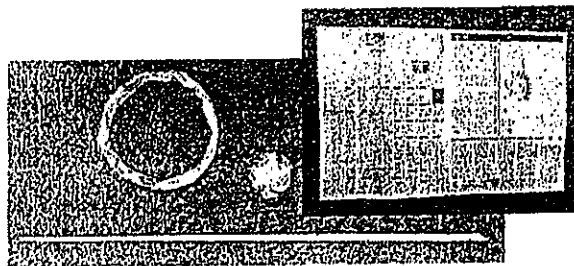
[ワーク2]

バリエーションを引き出す教材を考えてみよう！

ワーク時間 10分

準備

新聞紙 4枚 テープ



進め方

- ① ボール、棒、輪っかをそれぞれ1枚の新聞紙で作ります（3枚使用）。
- ② 作ったボール、棒、輪っか、何もしていない広げた新聞紙の4種類を、それぞれ「できるだけ遠くに」投げてください。この時、自分の体の動きを意識してみてください。何度か試してみてください。
- ③ 新聞紙で作った4種類のモノの投げ方について話し合ってみましょう。

© 2016 Hoiku-design inst

[ワーク]

遊び要素を高める工夫を考えてみよう！

ワーク時間 10分

準備

次ページのスライド 5cm幅の付箋、1人10枚程度

グループ毎にA4用紙2枚

進め方

- ① 次のスライドの保育者の指示や場の設定について遊び要素を高める工夫を考えてみます。
- ② 遊び要素（子どもの自己決定）を高めるためには、どのような場の工夫（再構成）が考えられるか付箋に書き出し、そのように考えた理由についても書きましょう。
- ③ また、どのような指示（言葉掛け）が考えられるか書き出し、その理由についても書きましょう。
- ④ 言葉掛けや、場の工夫（再構成）について、A4用紙に貼り出して話し合ってみましょう。

© 2016 Holku-design Inst

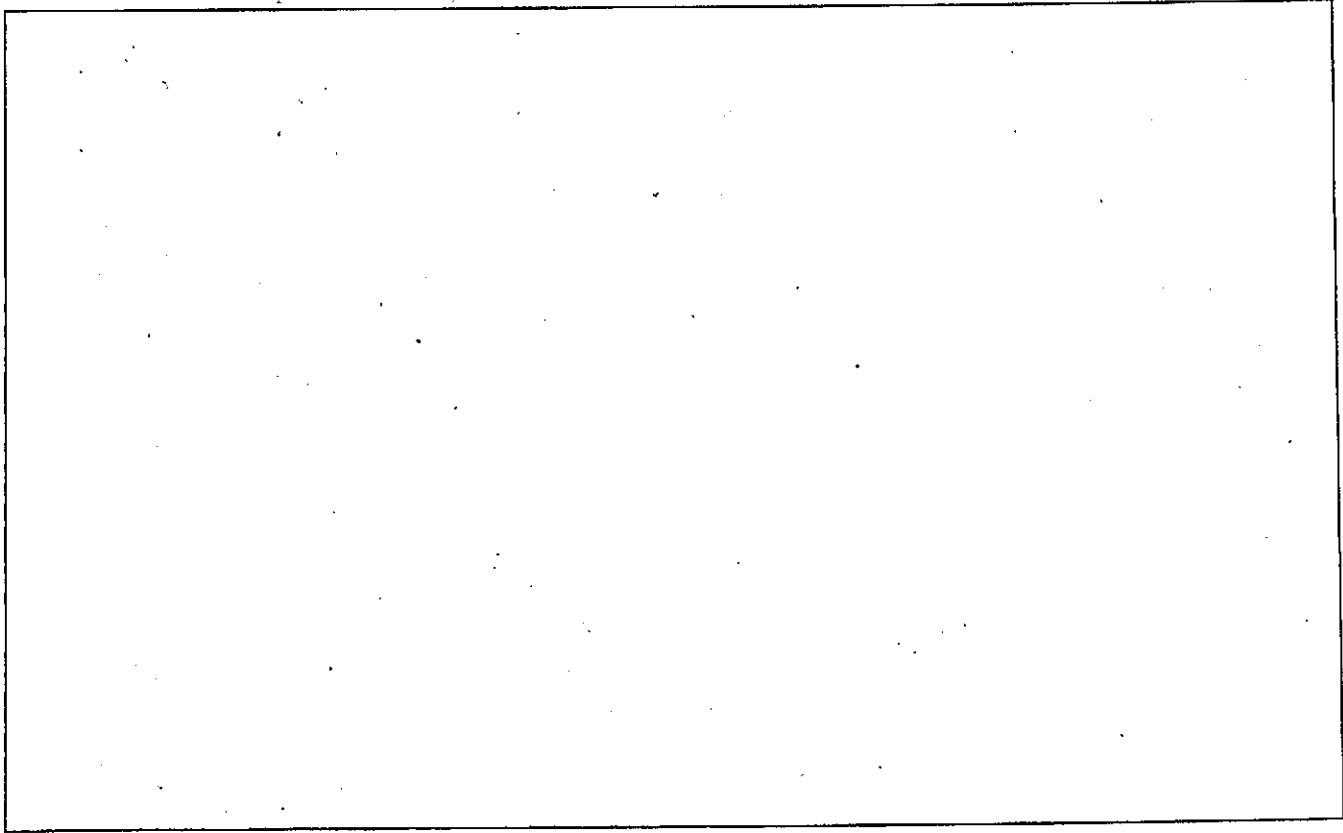
[ワーク]

ビーム（一本橋）の渡り方について保育者はクラスの子ども全員に対し次のような指示を出しました。渡り方について遊び要素を高める工夫を考えてみましょう。

保育者「バランスをとって前を向いて落ちないように渡りましょう。
渡り方はこう（下図のように両手を広げて）ですよ。」



© 2016 Hoiku-design Inst



[ワーク] 子どもの素朴な音楽表現を見つけよう！

ワーク時間 10分

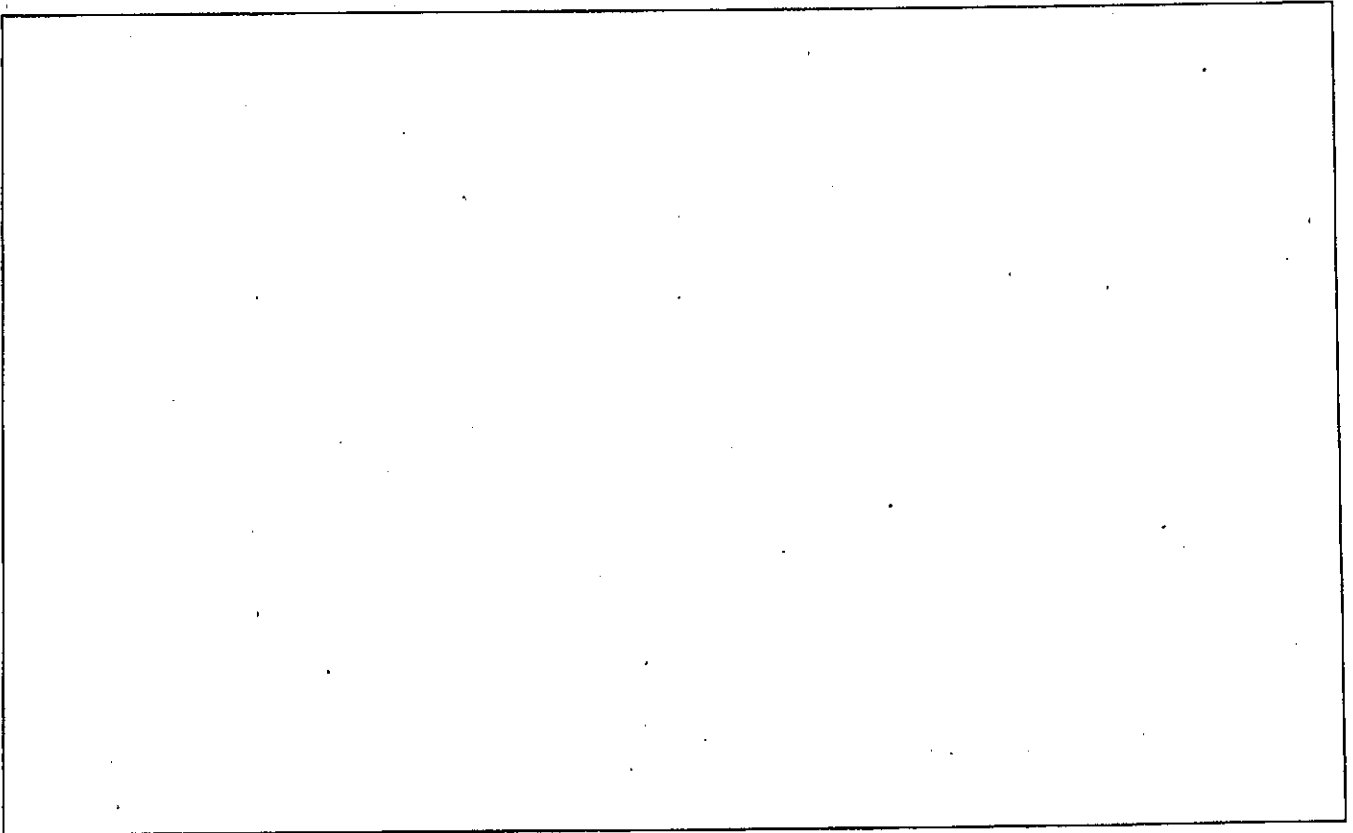
準備

5cm幅の付箋、10枚程度、A4用紙1枚

進め方

- ① 遊びのなかでの子どもの素朴な表現。例えば音を鳴らしたり聞いたりすることを楽しんでいたたり、体をリズミカルに揺らしたり、なんとなく歌っているようであったり……。そんな表現を思い出して付箋に書き出しましょう。
- ② 園庭、保育室、テラス……。その表現を、年齢、場所ごとに並べます。
- ③ それぞれの表現とその背景（環境やそれまでの経験）について話し合い、気づいたことを書き出しましょう。

© 2016 Hoiku-design Inet



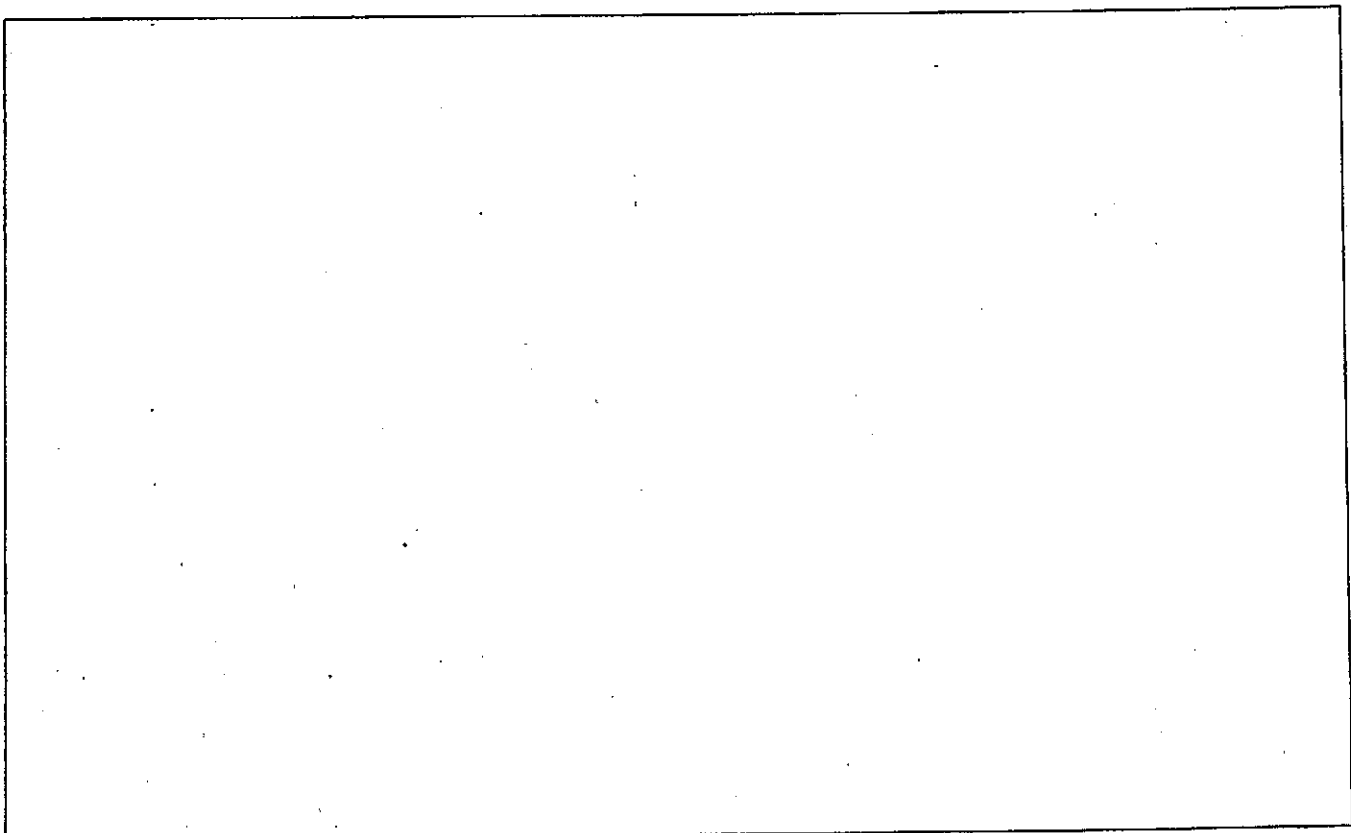
[ワーク] 「声の料理」にチャレンジしよう♪

ワーク時間 10分

進め方

- ① 声でカレーライスを作ってみる！
ジャガイモを切るときの音は？人参は？玉ねぎは？
次に、何をするかな？
- ② 二人組になる。
- ③ それぞれ、どんな料理を作ろうかと考える。
- ④ 声だけで、料理を作ってみる。身振りをつけてはダメ。
- ⑤ 相手が、何を作っているのか当ててみよう！
- ⑥ 交代して、声の料理にチャレンジ。

© 2016 Hoiku-design Inst



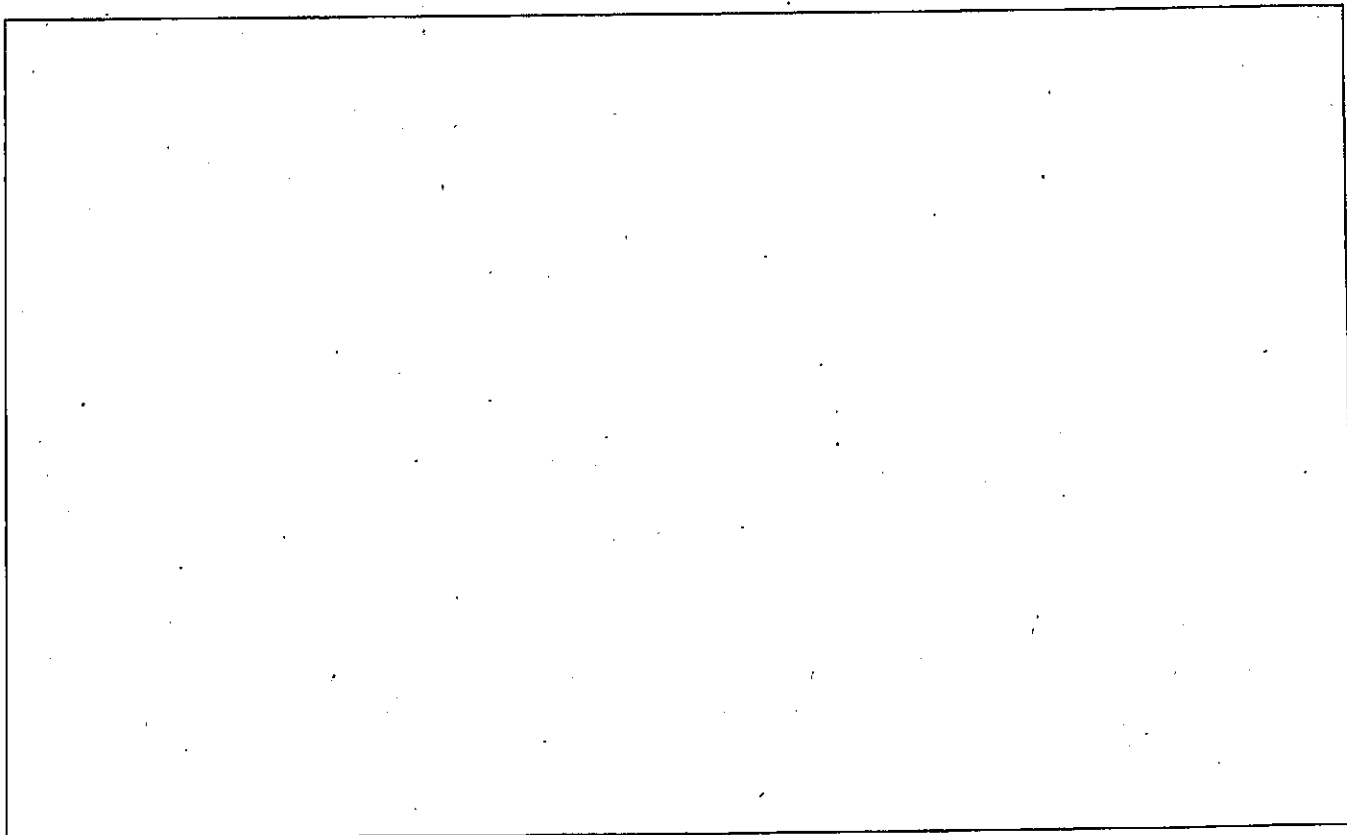
[ワーク] 保育者と対話する赤ちゃんの写真から

ワーク時間 5分

進め方

- ① 二人組になり、赤ちゃん役と保育者役を決める。
- ② 二人の会話を再現してみよう。
- ③ どんな声で話しているのか、何を話しているのか分析してみよう。

© 2016 Holku-design Inst

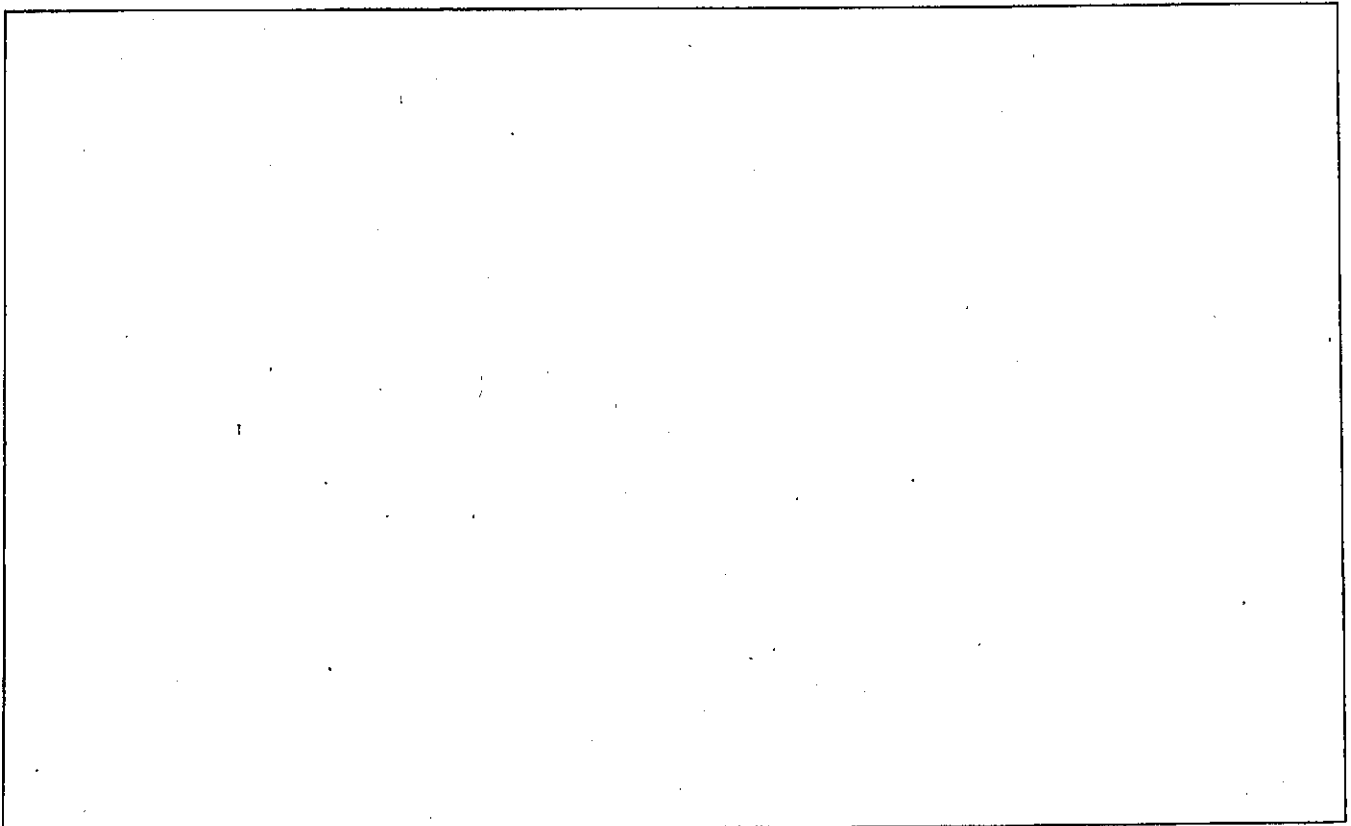


[ワーク1] 気持ちを音で表現する！

進め方

- ① 嬉しい音ってどんな音？机を叩いてみてください。
- ② 怒った音は？ 悲しい音は？ 優しい音は？
- ③ 叩き方、音の表情には、どんな違いがあるのか考えてみよう。
- ④ 音の表情を変えるにあたり、何を参考にしているのか考えてみよう。

© 2016 Hoiku-design inst



[ワーク2] 表現した音を描いてみる！

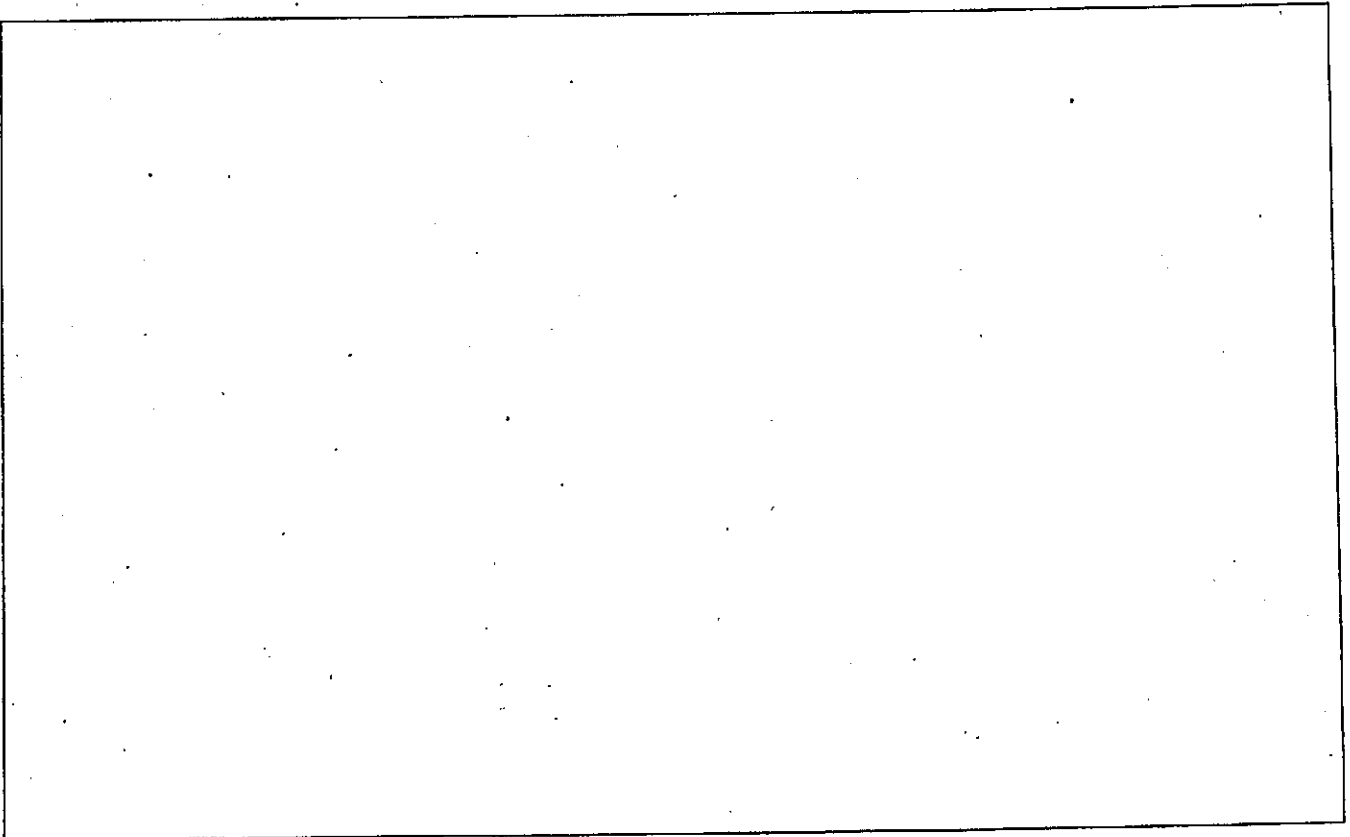
ワーク時間 5分

準備

A4用紙1枚

- ① 先ほど叩いた嬉しい音のイメージを紙に描いてみよう。
- ② 怒った音、悲しい音についても同様に。
- ③ どのようなデザイン（イラスト）になったか、見比べてみよう。

© 2016 Hoiku-design inst



[ワーク3] いろいろな紙を使って表現してみよう

ワーク時間	10分
-------	-----

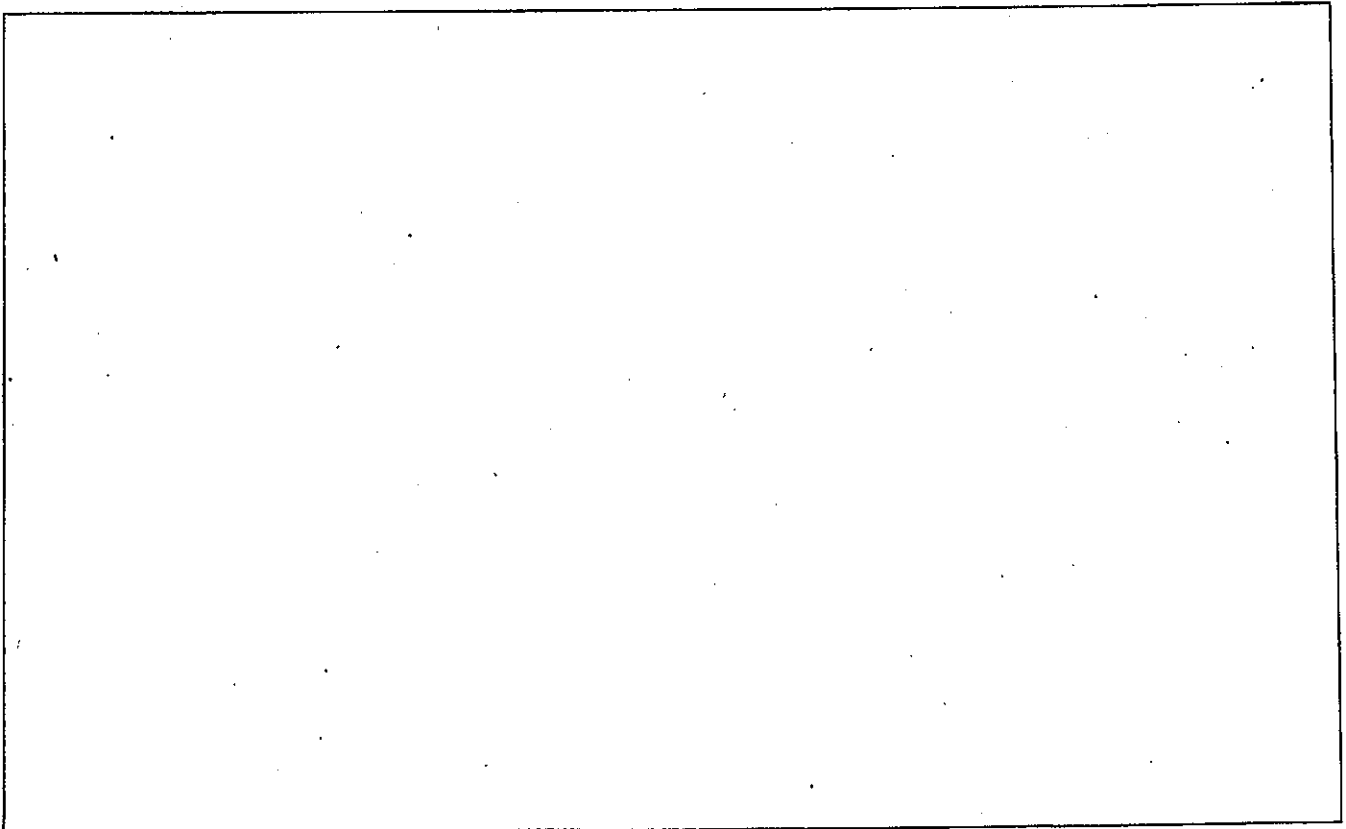
準備

様々な素材の紙

進め方

- ①前のスライドの楽譜を、声ではなく、紙を使って表現する。
- ②様々な素材の紙からどんな音が表現できるか、音を出しながら考える。
- ③表現するパートを決め、紙の音のアンサンブルに仕上げる。

© 2016 Holku-design Inst

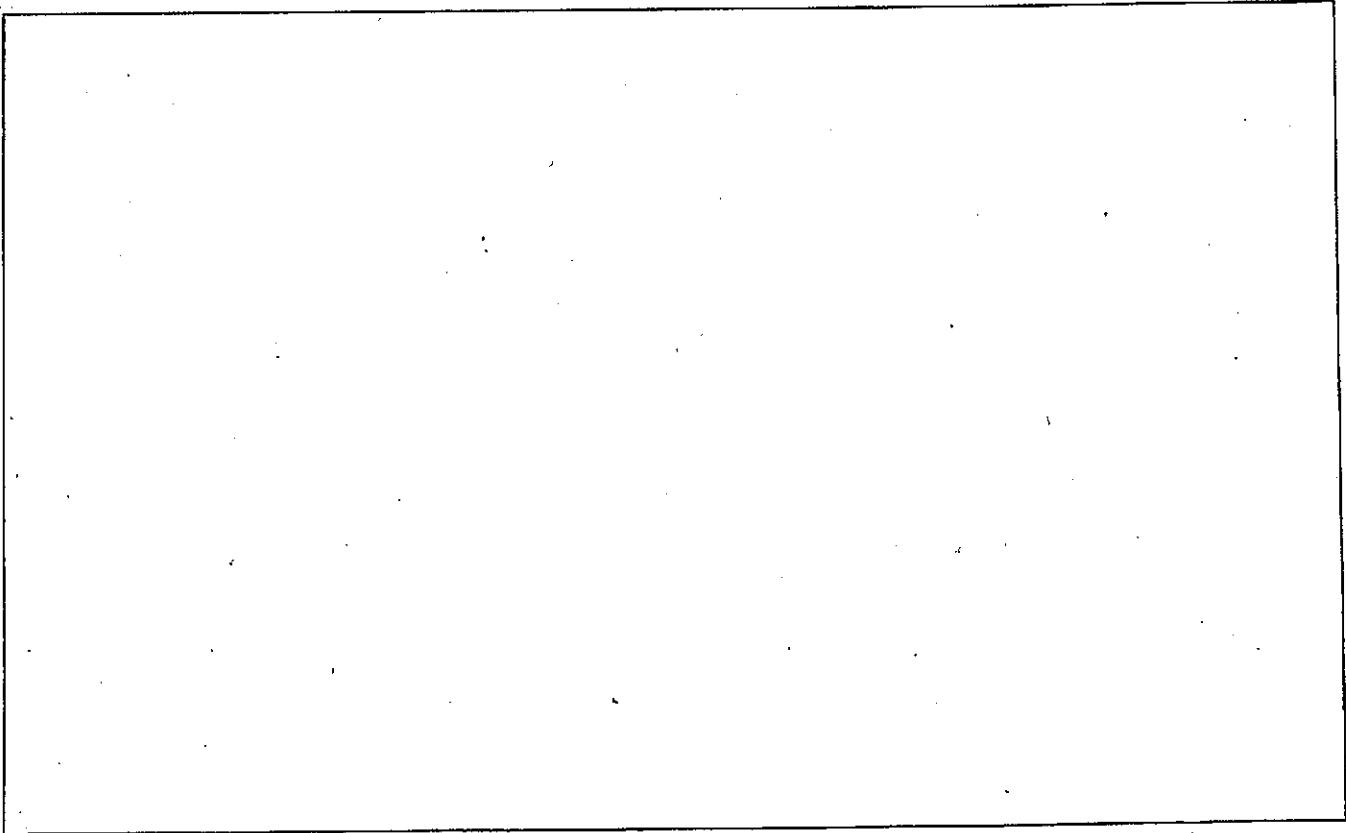


事例④ 情景が見える歌唱

[ワーク1] 「かたつむり」の歌を歌う

- ①かたつむりと遊んでいるように歌ってみよう。
- ②這っているかたつむりのように歌ってみよう。
- ③しとしとと降る雨の中のかたつむりを眺めているように歌ってみよう。
- ④歌い方に、どんな違いがあったかな？何が、どのように変化したのかを考えてみよう。

© 2016 Hoiku-design inst.



[ワーク2]

「シャボン玉」の情景を表現しよう。

シャボン玉

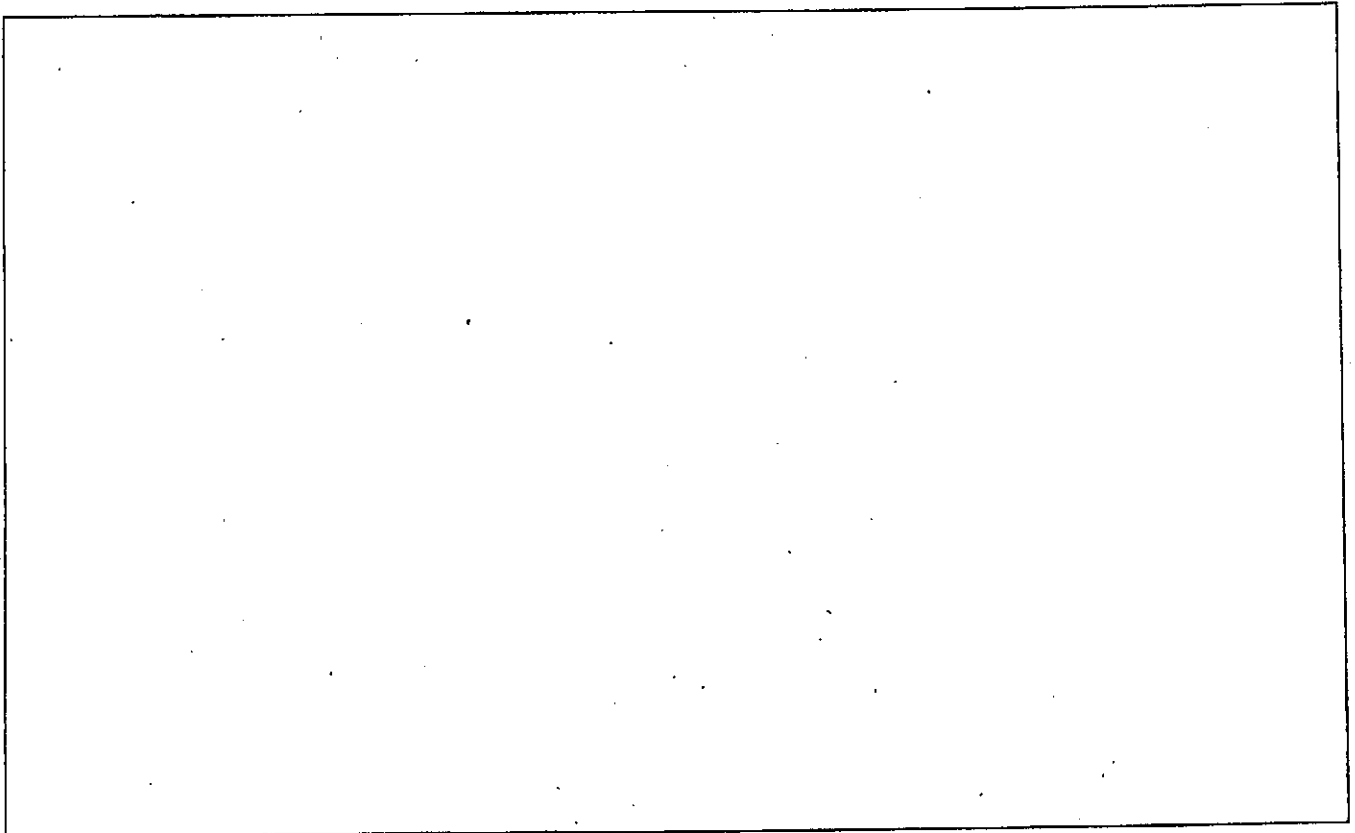
野口雨情作詞 中山晋平作詞

シャボンだまとんだ やねまでとんだ
やねまでとんで こわれてきえた

シャボンだまきえた とばずにきえた
うまれてすぐに こわれてきえた

かぜかぜふくな シャボンだまとばそ

© 2016 Hoiku-design Inst



[ワーク] 「好きな絵本」を語ろう

ワーク時間 10分

準備

自分の好きな絵本1冊

(就学前に読んだ・読んでもらったことのある絵本)

進め方

- ①絵本のページをめくりながら、好きなところを具体的に語りましょう。
- ②絵本に出会った経緯や読んでもらった体験などを振り返りましょう。
- ③自分がその本を相手に読み聞かせするとしたら、どのように読みたいか、考えてみましょう。
- ④奥付を確認し、出版年を確認してみましょう。

© 2016 Holku-design inst

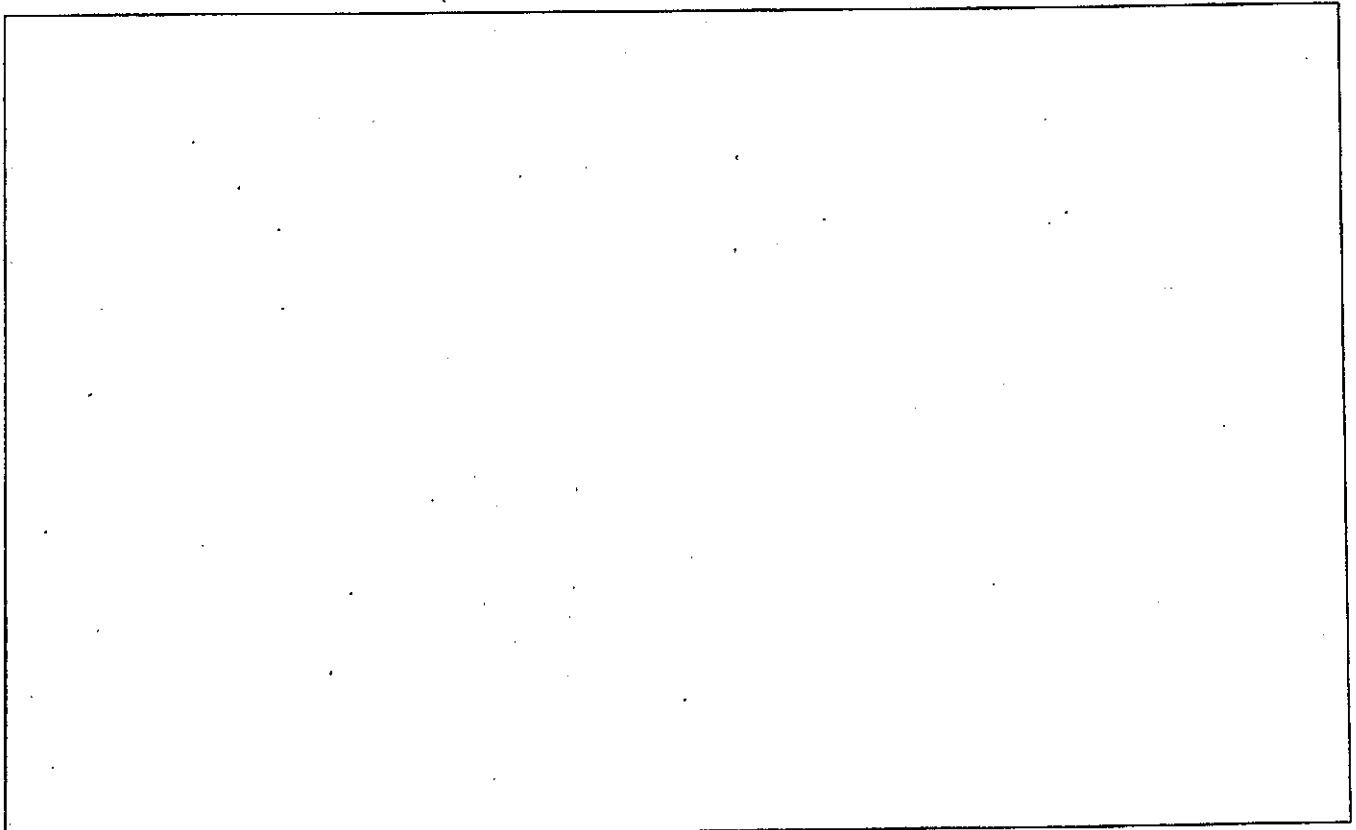
[ワーク] 絵本の構造を分析してみよう

ワーク時間 10分

準備：数冊、自分の好きな絵本（乳幼児向け）をご準備ください

- ①絵本の種類はどれでしょうか？
- ②絵をじっくり眺めましょう（登場人物、背景、余白、色、発見）
- ③文字・文を読みましょう（響き、リズム、新しい言葉）
- ④絵と文の対応は？（めくりのタイミング）
- ⑤ページ間のつながりの工夫？
（構図、方向、予想や発見、くり返し構造）
- ⑥物語の構造
（行って帰ってくる、不思議な世界への入り口、困難による遅延、起承転結構造）

© 2016 Hoiku-design inst



[ワーク] 絵本と環境構成について考える

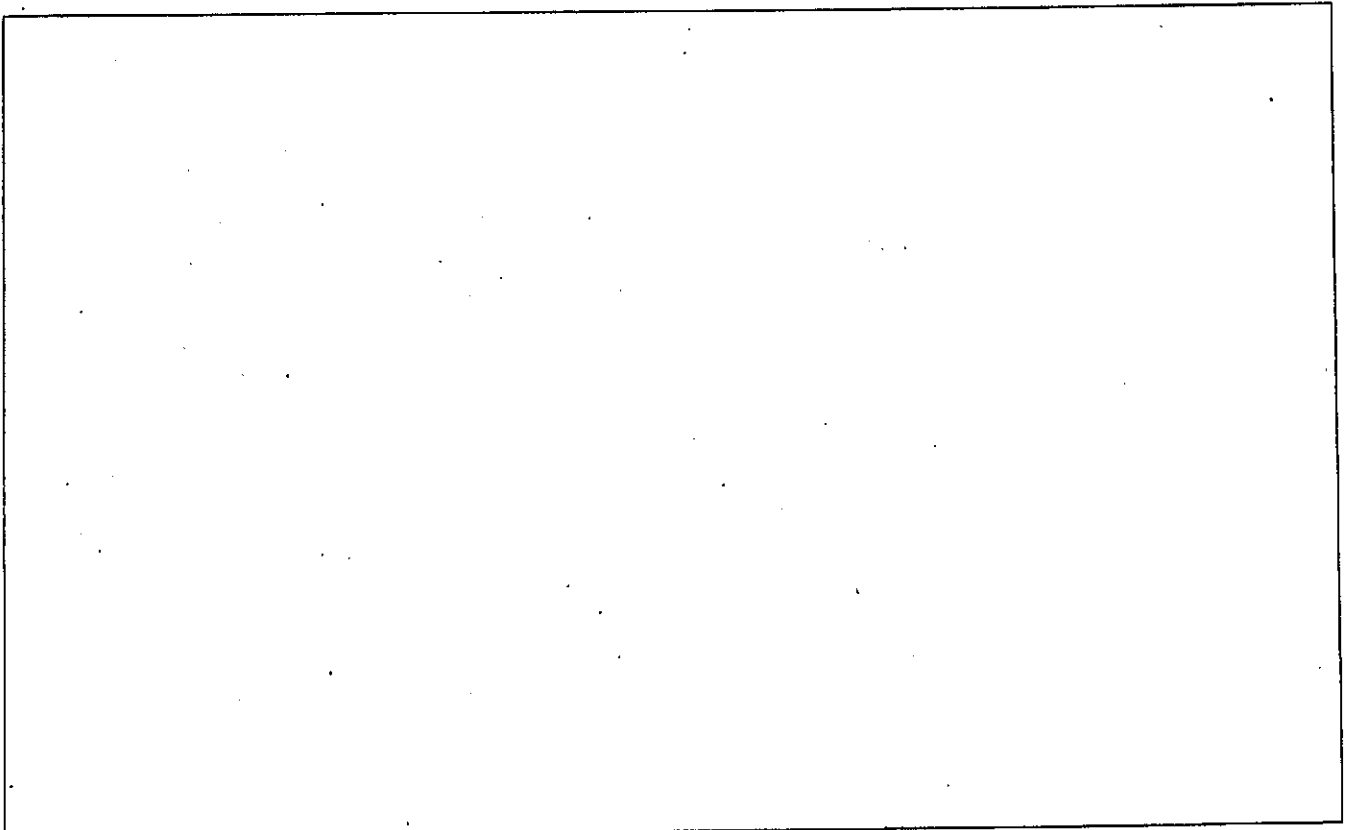
ワーク時間 10分

準備：A4用紙1人2枚

①保育室で「絵本をじっくりと楽しめる環境」をどのように構成しますか？
環境図をかいてみましょう。

②今の時期、子ども達と楽しみたい絵本は何ですか？
また、どのように絵本と子どもの出会いを設けますか？
季節、自然、行事
子どもの生活、経験、遊びにつながる
保育者が伝えたいこと

© 2016 Hoiku-design inst



[ワーク] 昔話の再体験

ワーク時間 10分

準備：可能であれば、一つの昔話について複数の作者と年代の違う絵本

①昔話を1つ選び、「素話」をしてみましょう

昔話の例

日本：ももたろう、かちかちやま、さるかに など…

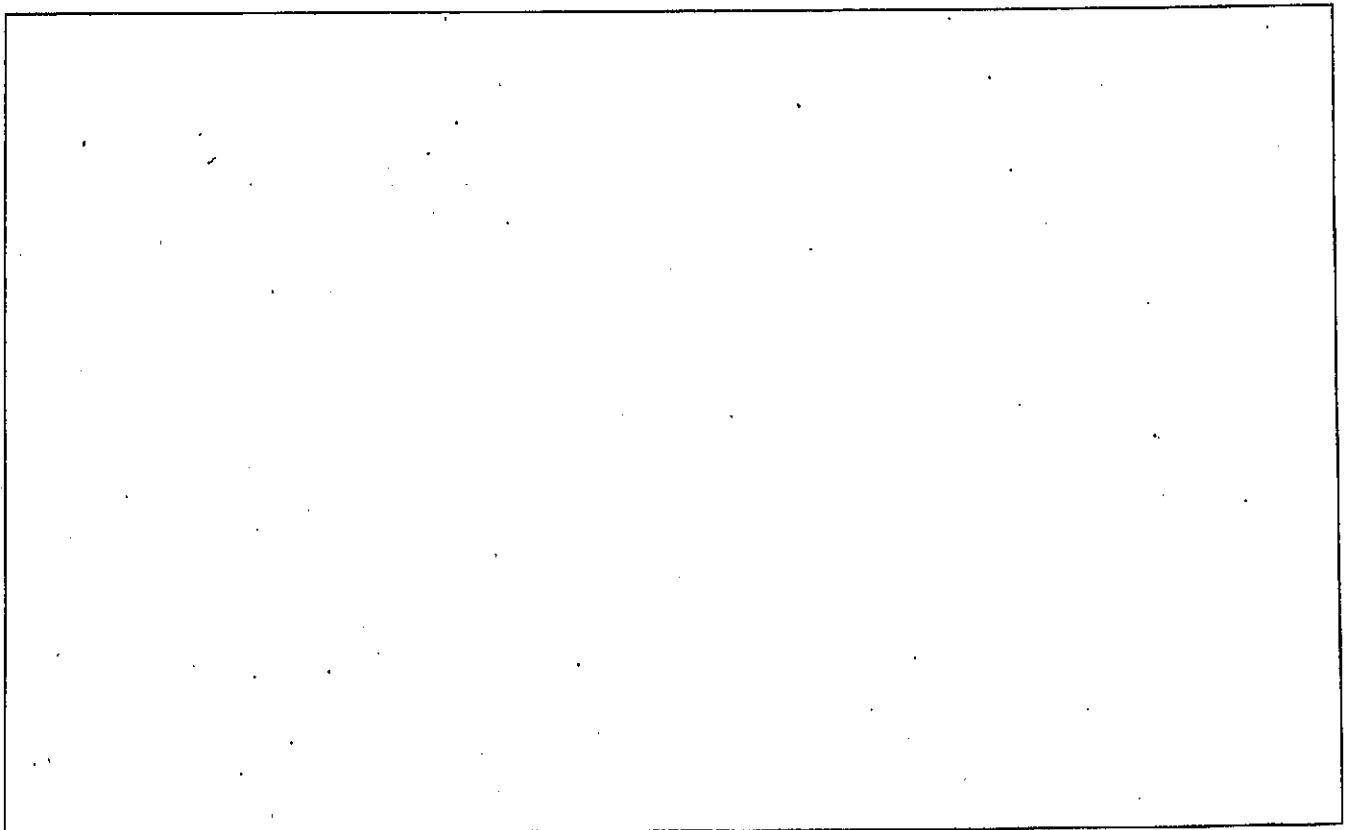
②一つの昔話について、複数の作者の絵本を読んでみましょう

昔話の語り口（「3」つの繰り返し／はじまりとおわりのことば）

年代の違うもの（結末の違い／表現の違い／省略）

作風の違いと味わい

© 2016 Hoiku-design Inst



[ワーク] 変化のプロセスを楽しもう

ワーク時間 30分

◆準備

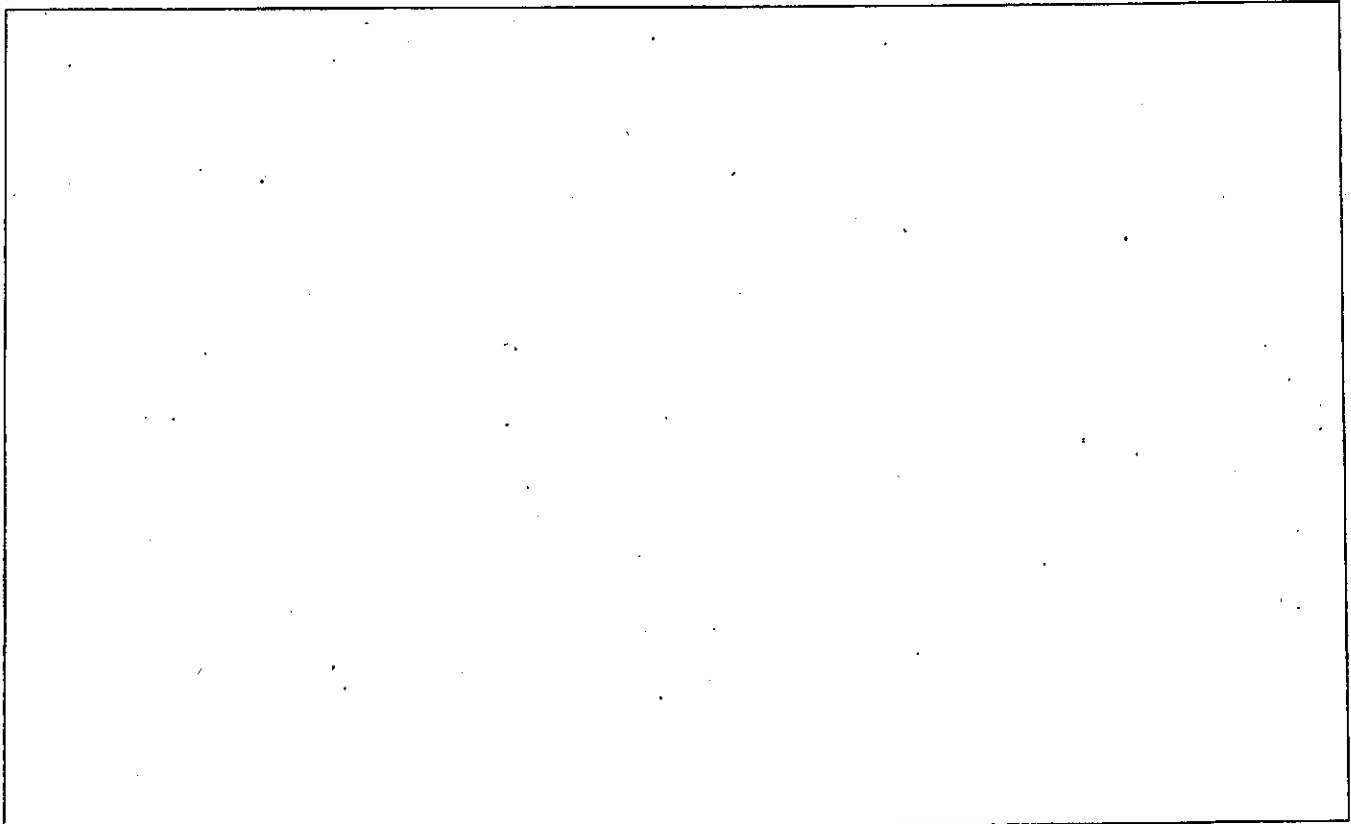
はがきサイズのケント紙、パス (orクレヨン)、オリーブオイル、セロハンテープ、ベビーパウダー、フォーク (プラスチック)、ウェットティッシュ
古新聞紙や広告紙など、テーブルが汚れないように敷く。

◆進め方

- ①ケント紙に一本の線をかく。1本の線の表情を2人ペアで互いに観る。
- ②自由にぐるぐる線かいていく。
- ③オリーブオイルを指に付け、ぐるぐる線をこする→線が溶けていく。
- ④感じるままにさらに指でこすっていく (フォークでひっかいてもよい)。
- ⑤ベビーパウダーを指でつまんで、こすっていく。
- ⑥完成したら、2人ペアでお互いつくったものを「Iメッセージ」で伝えあう。

※「Iメッセージ」は、私が主語になって発せられるメッセージです。「表現の援助」参照。

© 2016 Hoiku-design inst



[ワーク] 見たことのない生き物を作ろう

◆準備

八つ切りの白画用紙（2枚）、八つ切りの色画用紙（1枚）、
パス（orクレヨン）、のり、セロハンテープ
古新聞紙や広告紙など、テーブルが汚れないように敷く。

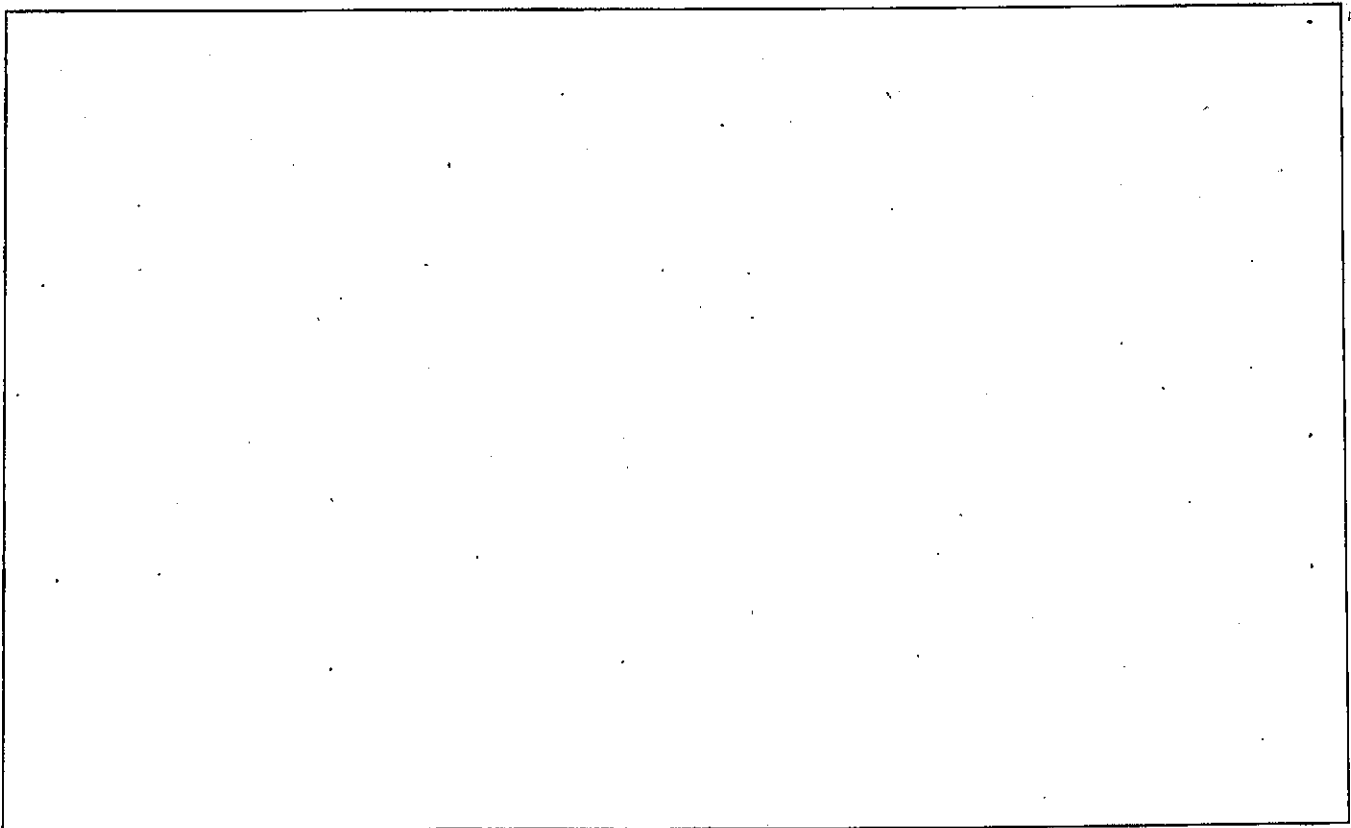
ワーク時間 30分

◆進め方

- ①白画用紙1枚（A）に、自由にぐるぐるをかいてみる。いろんな色でかいてみる。
- ②もう1枚（B）に、両手でぐるぐるをかいてみる。
- ③AかBのどちらかを選び、どちらかを手で破る（ちぎる）。
- ④破る・ちぎる際の大きさは、いろんな大きさになるように（8回くらい）
- ⑤破ったパーツを色画用紙の上に置く。
- ⑥「見たことのない生き物」というテーマで、パーツをコラージュする。
- ⑦完成したら、2人ペアでお互いつくったものを「Iメッセージ」で伝えあう。

© 2016 Hoiku-design inst

※「Iメッセージ」は、私が主語になって発せられるメッセージです。「表現の援助」参照。



[ワーク]

「自然物」と「人工物」の違いについて考えよう

ワーク時間 10分

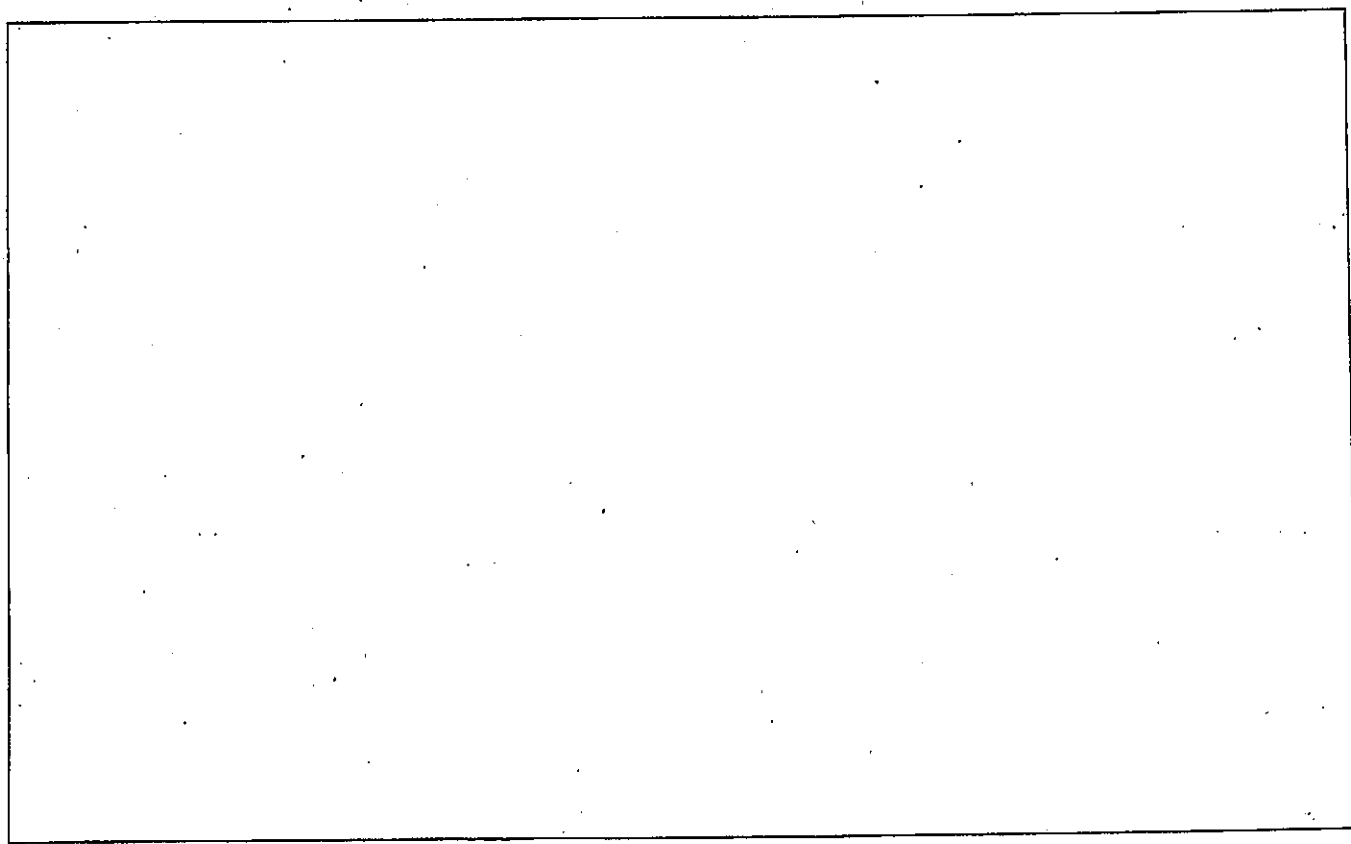
準備

A4用紙1枚 筆記用具

進め方

- ①各自が用紙を半分に分け、自然物を使った遊びと人工物を使った遊びを対比させながら、その特徴を書き出す（4分）
- ②3、4人で結果をシェアする（3分）
- ③それらの特徴から生まれてくる、自然物を使った遊びの特性や自然のもつ意味についてグループで考える（3分）

© 2016 Holku-design Inst



[ワーク]

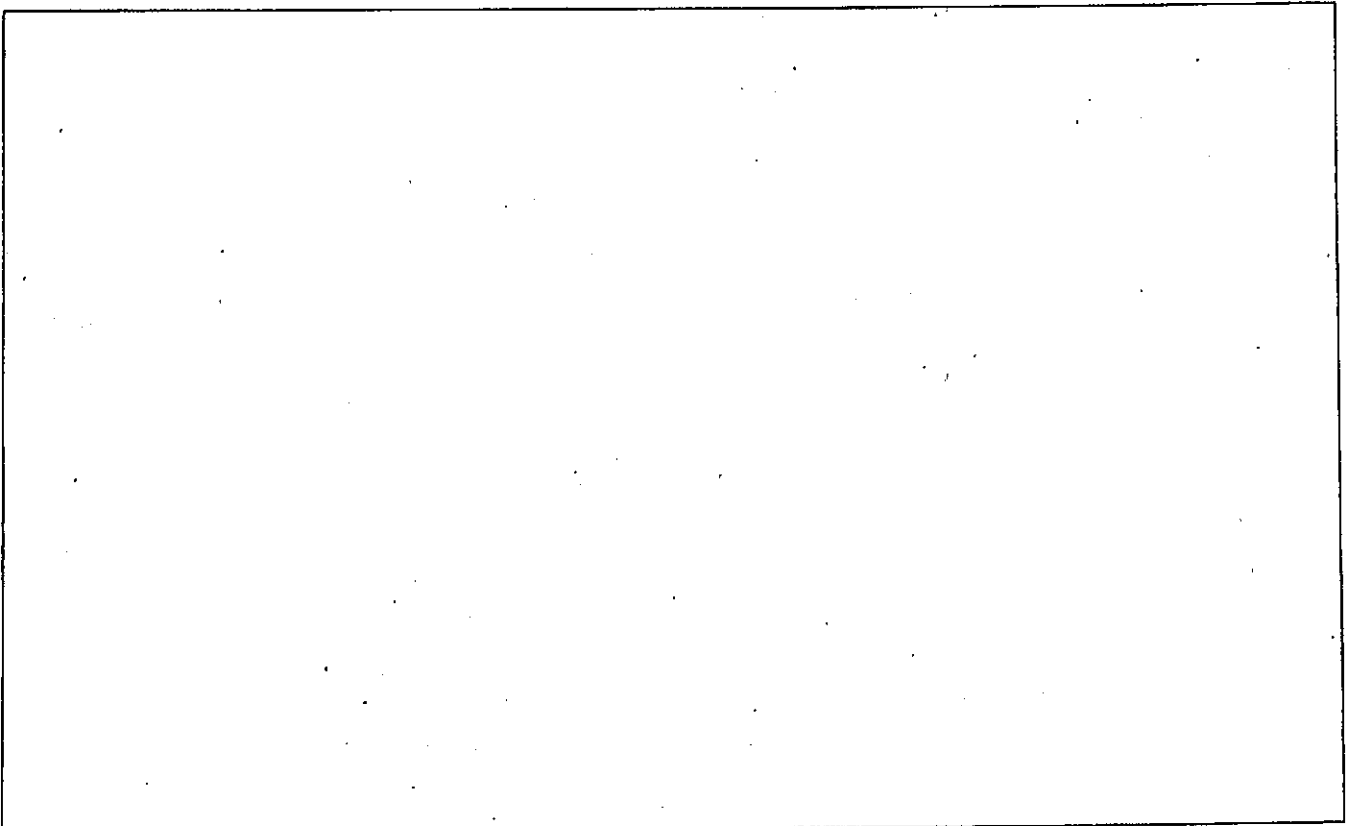
「自然物」と「人工物」の違いについて考えよう

ワーク時間 10分

留意点

- ・「正解」があるわけではないので、それぞれの方が考えたこと、感じたことを自由に書いてみてください。
- ・子どもにとってだけでなく、保育者にとっての意味も同時に考えてみるとよいでしょう。

© 2016 Haiku-design Inst



[ワーク]

これから活用していくことができそうな自然の対象を考えよう

ワーク時間 10分

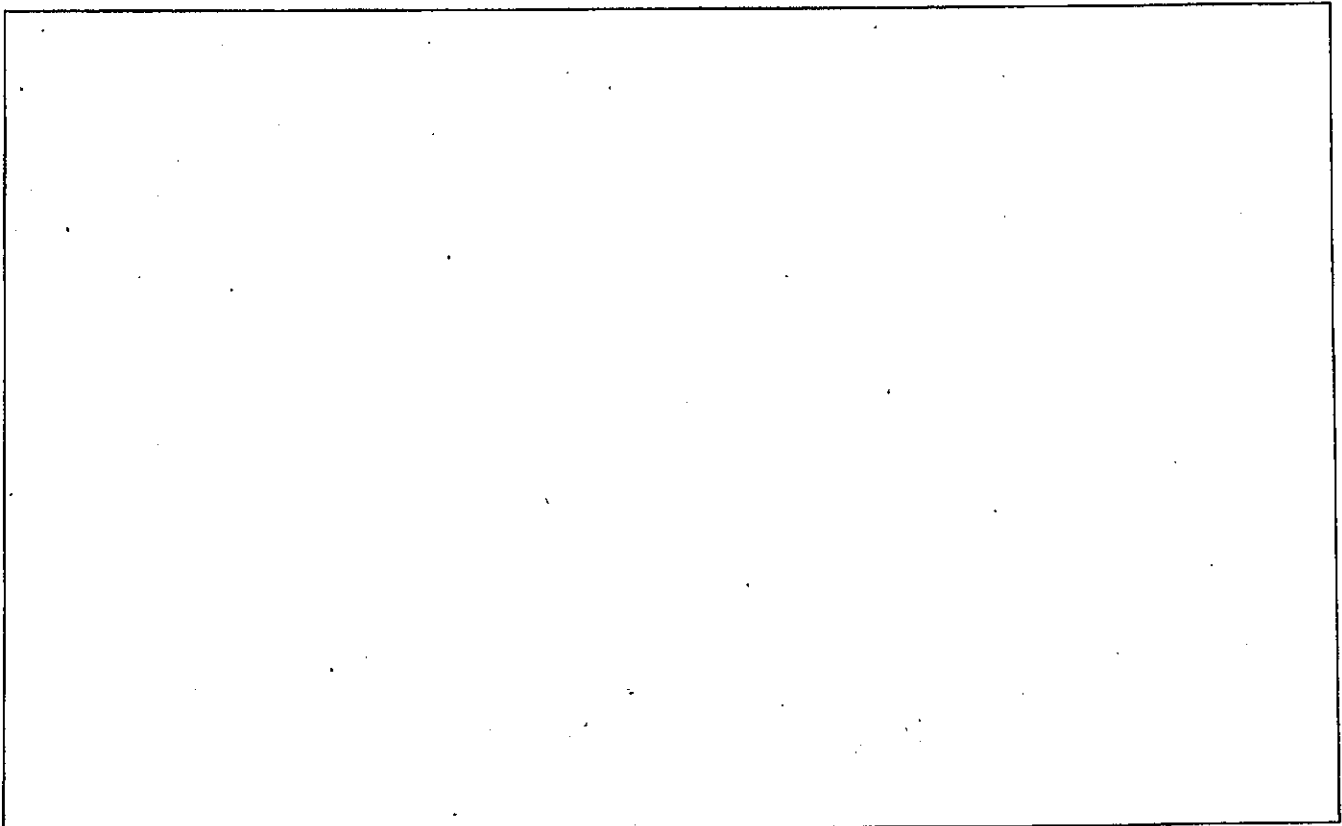
準備

例) 2cm幅の付箋紙、10枚程度 模造紙

進め方

- ①現在使っていないくてこれから活用していけそうな自然の対象を、各自が記述する (3分)
- ②植物、動物、無機物、自然事象などに分けて、みんなの付箋紙を集め、整理する (3分)
- ③園として今後、活用できそうな自然の対象についてや、どのような道具を用意できるかを考える。 (4分)

© 2016 Holku-design inst



[ワーク]

現在かかわれている子どもたちの経験内容を具体的に考えよう

ワーク時間 10分

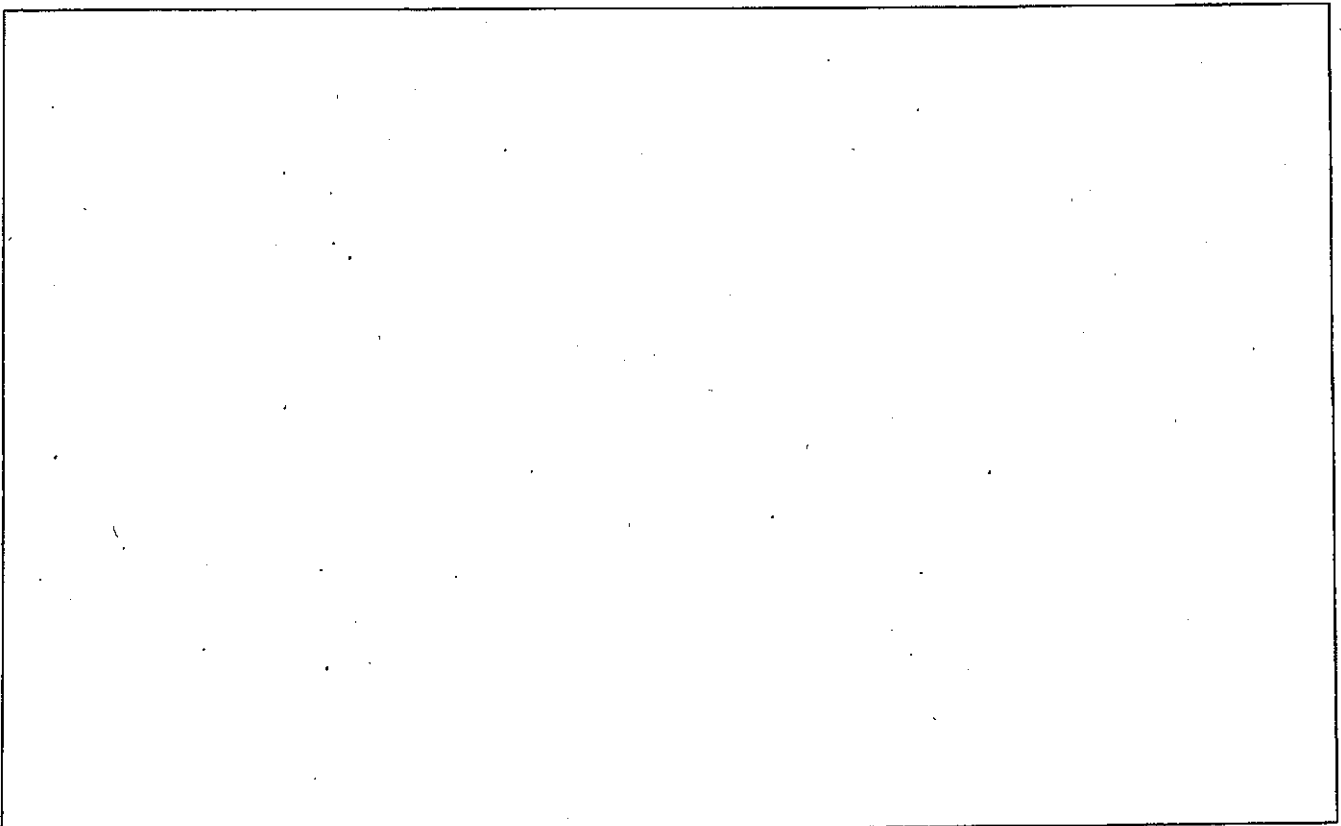
準備

例) 10cm幅の付箋3枚程度 模造紙

進め方

- ①現在保育でかかわれている子どもたちが、自然とのかかわりの中でどのような経験をしているかを、先に説明した(1)～(5)も参考にしながら具体的にあげる (5分)
- ②4、5人で結果をシェアし、子どもたちが経験していることを共有する (5分)

© 2016 Hoiku-design inst



[ワーク]

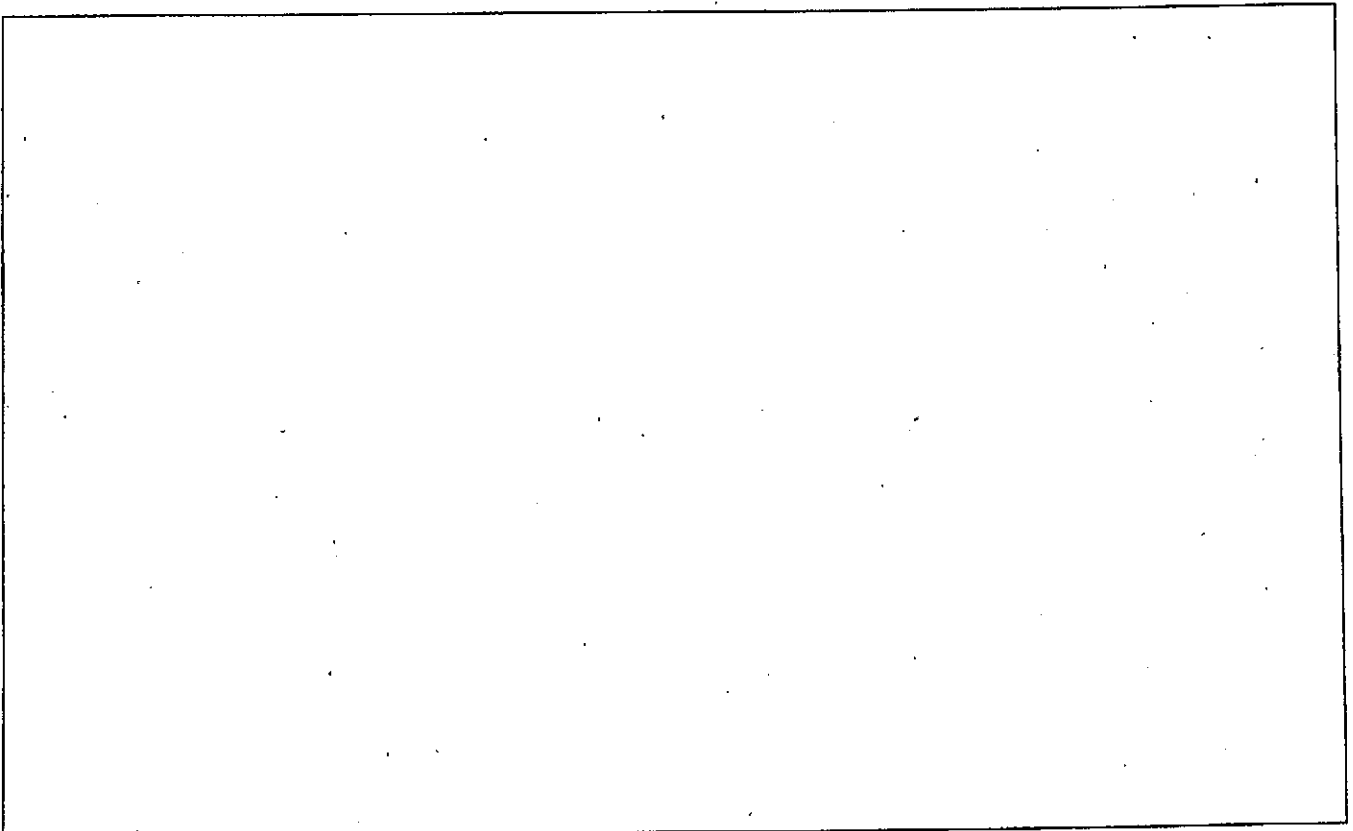
現在かかわっている子どもたちの経験内容を具体的に考えよう

ワーク時間 10分

留意点

- ・ (1)~(5)に合う姿を探してくるのではなく、具体的に自然とかかわっている子どもの姿を思い出して、そこで感じているであろうことを記述していく。
- ・ 子どもの外見の姿（砂遊びをしている、飼育当番をしている）だけでなく、その子どもが何を感じているか（カップで形作るところに面白さを感じて繰り返している、当番活動はしているが義務的にやっているなど）を描く。

© 2016 Holku-design inst



[ワーク]

自分の、そして園としての保育観、自然観を見つめ直そう

ワーク時間 15分

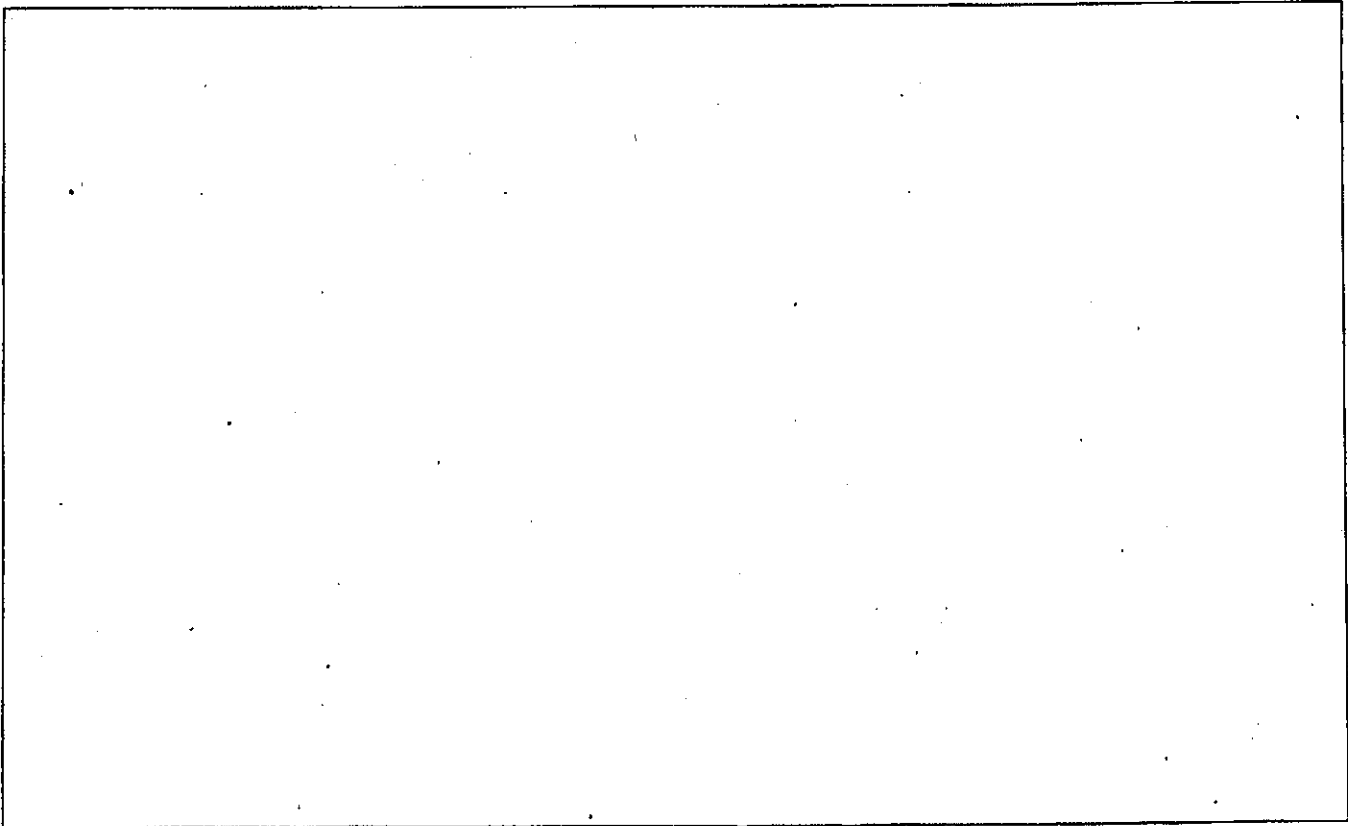
準備

例) 5 cm幅の付箋10枚程度 模造紙

進め方

- ① 4回の研修を受けて、今後の保育で大事にしていきたいことや取り入れていきたいことを各自が記述する (4分)
- ② それらを模造紙の上に出し合い、グループ化する。(4分)
- ③ 園として今後、自然とかかわる保育においてどのようなことを大事にしていきたいかを語り合い、園としての保育の方向性を共通確認する。(7分)

© 2016 Haiku-design inst



[ワーク]

自分の、そして園としての保育観、自然観を見つめ直そう

ワーク時間 15分

留意点

- ・まずは自分の「やってみたいこと」「取り入れたいこと」を中心に、子どもの経験、保育者の援助の視点両方から考えてみてください。
- ・みんなで考える際には、具体的な保育での場面を想定していくことで、それぞれの保育者の思いや意識がずれにくくなると思います。
- ・最終的には、園の実態に合わせて、園として「したいこと」「すべきこと」「できること」が一致する部分を探っていくしてほしいと思います。

© 2016 Hoiku-design inst

